

真宗

〈教団の動き〉

董理院長 池田勇諦氏 命終

「本願寺水道水源池」が国指定重要文化財に

第8回「教勢調査」報告書完成

「死刑執行の停止、死刑廃止を求める声明」を
発表

宗務審議会「『是旃陀羅』問題に係る經典読誦に
関する委員会」設置

「第53回教区同朋大会 令和6年能登半島地震
奥能登豪雨物故者追弔法会」勤修

山陽教区「被爆80周年非核非戦のつどい」開催

〈お知らせ〉

九州教区「原爆80年 非核非戦法要・非核非戦の
つどい」開催

宗門現勢の報告

中央選挙管理委員会からのお知らせ 宗議会議員
選挙における主な変更点について

〈特集〉

宗務審議会「大谷祖廟総合整備に関する委員会」
答申

8月号

2025(令和7)年



大谷祖廟晩天講座（8月1日～5日）

新刊のご案内

教えをなぞって書き、読み、考える親鸞語録 書いて学ぶ

親鸞のことば

歎異抄

鶴見 晃 著

「書いて学ぶ」シリーズ待望の『歎異抄』編が登場。「師訓篇」から要となる言葉を、ペンや鉛筆でなぞりながら学べ、お一人でも、お寺の集いの場でも活用いただけるテキスト。平易な現代語訳、仏教語の注、読み解きのためのコラム付き。

B5判／56頁 定価：660円(税込)



 東本願寺出版
HIGASHI-HONGANJI PUBLISHING

TEL:075-371-9189まで

詳しい書籍情報・試し読みは

東本願寺出版

検索

当派の寺院・教会からのご注文は2割引となります。

完結！

幡谷明講話集

第6巻 浄土論註講義 下

幡谷 明著 曇鸞研究の第一人者である著者が「浄土論註」の全容を解き明かす。親鸞教学の思想的解明に尽力した「幡谷法座」の集大成。 四、四〇〇円

重版

正信偈もの知り帳

九三〇円

野々村智則著 仏教文化研究会編 「正信偈」をこれまでより10倍、親しく身近にする徹底もの知りガイド。

法蔵館文庫

鎌倉仏教の中世

平雅行著

一、三二〇円

柳瀬彰弘著

一、六五〇円

現代語訳 六要鈔

■「六要鈔」に現代語訳を試みた意欲的労作。

統一教会・現役二世信者たちの声
壁の向こうの言葉を聴く
瓜生 崇一著 一、九八〇円
高額献金や銃撃事件のその裏で、教団改革を望み声をあげてきた二世信者たちがいる。教団と世間との狭間で揺れる9人の声を収める。



清基秀紀著 一、四三〇円
学生相手に長く仏教学を教えてきた著者が、仏教にふれることの少ない人たちに向けてわかりやすく伝える、法話エッセイ集。



浄土への感性
この道は、いつかゆく道

新刊

ケネス・タナカ著 二、二〇〇円
アメリカ流儀で学ぶと、仏教はこんなに楽しくわかりやすい！海外で話題の入門書が、日本版として登場！



目からウロコの仏教入門

新刊

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458



法蔵館

<https://pub.hozokan.co.jp> 新刊メール配信中！
表示価格は税込 お買上16,500円(税込)以上送料無料

真宗

8月号

第1457号

樹心佛地「前を訪う」……………	2
教団の動き……………	3

董理院長 池田勇諦氏 命終

「本願寺水道水源池」が国指定重要文化財に

第8回「教勢調査」報告書完成

「死刑執行の停止、死刑廃止を求める声明」を発表

宗務審議会「「是旃陀羅」問題に係る經典読誦に関する委員会」設置

「第53回教区同朋大会 令和6年能登半島地震

奥能登豪雨物故者追弔法会」勤修

山陽教区「被爆80周年非核非戦のつどい」開催

お知らせ

真宗大谷派寺院教会名簿のウェブページ閲覧用パスワードについて… 10

九州教区「原爆80年 非核非戦法要・非核非戦のつどい」開催… 11

『坂東本 教行信証』カラー影印縮刷本 予約受付中…………… 12

宗務所から・教区から…………… 13

宗門現勢の報告…………… 18

中央選挙管理委員会からのお知らせ 宗議会議員選挙における
主な変更点について…………… 20

2025年「御正忌報恩講」参拝のご案内…………… 24

(広告) 月刊『同朋』8月号

—特集「ニッポンがしたこと——なぜ戦争はダメなのか」………… 27

特集

宗務審議会「大谷祖廟総合整備に関する委員会」答申…………… 28

真宗本廟奉仕・縁・諸研修報告【上山報告】…………… 39

各種連載

ハンセン病はいま (330)…………… 40

青少年センターニュース…………… 42

児童教化のページ (591)…………… 44

今月のお寺 (226)

〈東北教区頼圓寺〉「繋がるご縁を大切に。歩み出すお寺」………… 46

ご案内・要項

総合相談室…………… 51

2026年宗務役員（一般職）募集要項…………… 52

お寺の法宝物調査支援 実施要項…………… 54

大谷祖廟（親鸞聖人御廟所）のご案内…………… 55

現在受付中の募集・開催要項等…………… 55

真宗教化センターしんらん交流館のご案内…………… 56

真宗本廟 参拝接待所のご案内…………… 57

真宗本廟奉仕のご案内…………… 57

公示・告示・任免等

…………… 58

前を訪う

樹心佛地

虫干しあるいは虫払いと言えば、何やら黴や紙魚しみを連想してしまうが、曝涼ばくりょう・曝書ばくしょと書けば一変して風雅な趣きさえ感じられる。歳時記によれば、いずれも夏の季題として盛んに俳句に詠まれてきた。夏の土用の頃、晴天の乾燥した日を選び、衣類はじめ書画・宝物のたぐいを風に曝して湿気を取り除き、風入れするこ
とで害虫を追ひ払う。近年では生活様式の変容で廃れてしまっているが、寺院によっては古来これを利用し、什物や法宝物の展観を行ってきた歴史もある。

このたび真宗教化センター寺院活性化支援室では、新たな支援事業として、寺院の法宝物や文化財等の調査支援を行うという取り組みを開始した。支援の内容としては、寺院で所蔵している御本尊や絵像、御聖教や古文書、什物類等の法宝物や史料を現地で調査し、必要に応じて適切な保存方法の提案や助言を行う。次に調査結果をもとに図録形式の小冊子を作成することで、寺院の教化活動を応援する。寺院の歴史や由来を明らかにすることを通して、住職とともにご門徒が寺院の魅力を再発見することを願っている。

またこの支援事業は、令和六年能登半島地震によって被災した寺院への復興支援の一助としても活用いただけるほか、全国で解散を余儀なくする寺院にも活用いただくことで、法宝物滅失防止にもつながるとい
う側面もある。

折しも、昨年実施した第八回「教勢調査」の報告書が完成した。七章に及ぶ報告からは教団の現在地としての足元が見て取れる。これを未来に向けて活かしていくことが我々の使命であり、それは先達の願いを受け継いでいくということでもあるのだろう。いつの日か寺院が取り組む教化活動に、「門徒と共に寺の虫干し」という文字が上ることを期待する。この作業は先人が仏法繁昌を願い、労苦を惜しまず守り続けてきた寺院の歴史を読み解くことである。「後に生まれん者は前を訪え」と示された宗祖の願いに応えるための、一つの手がかりにもなるだろう。

教団の動き

教団の動き

一 董理院長 池田勇諦氏 命終

池田勇諦氏(いけだ ゆうたい) 董理院長・真宗大谷派講師・宗務顧問・三重教区桑名組西恩寺前住職)が、六月二十九日に命終された。九十歳。



慶讃法要での法話の様子
(2023年)

葬儀は七月四日十一時から、三重教区西恩寺にて執り行われ、宗派からは木越渉宗務総長が参列した。

池田氏は一九三四(昭和九)年八月二十日生まれ。大谷大学大学院修士課程修了。二〇〇〇年に講師・董理院董理、二〇二一年から董理院長を務められた。また関係学校である同朋大学に一九六二年から勤められ、文学部教授・文学部仏教学科長・文学部長・学長を歴任され、二〇〇一年より名誉教授とされた。

一九八六年には安居次講師、一九九六年・二〇〇六年には安居本講師を務められ、また一九九〇年から二〇二四年までの三十五回にわたり、親鸞聖人讃仰講演会の講師を務められるなど、宗派の教化活動に大いに力を尽くされた。また近年では二〇一一年の親鸞聖人七百五十回御遠忌法要、二〇二一年の宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要お持ち受け大会・本廟創立七百五十年記念大会、二〇二三年の慶讃法要結願法要など、宗派の大きな節目において法話をいただいた。

財務部

【5/16】

「本願寺水道水源池」が 国指定重要文化財に

― 明治時代につくられた本願寺水道 ―

五月十六日、国の文化審議会の答申により、「本願寺水道水源池」が琵琶湖疏水の関連施設として重要文化財に指定されることが発表された。

「本願寺水道水源池」は、琵琶湖疏水の水を防火用水として東本願寺境内まで引き入れた「本願寺水道」の出発点で、琵琶湖疏水か



本願寺水道水源池

らの水を貯水する、自然石で作られた施設。一八九七(明治三十)年に完成した本願寺水道は、江戸時代に四度も火災にあってた真宗本廟を火災から守るため、明治期の両堂再建に際して、東本願寺が独力で敷設した全長約四・六キロメートルの防火用水道。水源池と境内との高低差約四十四メートルを活かした自然水圧で、御影堂の屋根まで放水銃やドレンチャイ設備を通して水を噴き上げることができるといって、伝統的な寺社仏閣の中では先駆的な仕組みを持っていた。さらに防火用水としてだけでなく、御影堂門前の噴水や、東本願寺の堀、渉成園などにも給水されていたが、老朽化のため二〇〇八年に送水が停止されている。

なお、国宝・重要文化財に指定される琵琶湖疏水関連施設は、「本願寺水道水源池」のほか、南禅寺水路閣など二十四カ所となる。

企画調整局

第8回「教勢調査」報告書完成

—「一人の念仏者の誕生」のために—

二〇二四年一月一日を調査期日として実施し、八〇四六カ寺(回収率九五・九%)から回答をいただいた第八回「教勢調査」の報告書が完成した(A4版・一九二頁・オールカラー)。

本報告書は、今回の調査データに基づき、伊達平和氏(滋賀大学データサイエンス学部准教授)、宮部峻氏(立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部准教授)の両統計調査専門員に加え、堀兼大朗氏(滋賀大学データサイエンス学部講師)、佐野和子氏(滋賀大学データサイエンス・Aイーノベーション研究推進センター助教)、及び企画調整局による分析結果を取りまとめたもの。

人口減少や移動社会の進展といった社会状況を踏まえ、転居門徒との関係性の結び方や、



後継者不足と寺院の解散・合併などの宗門的な課題に対し、各寺院・教会における教化活動や僧侶と門徒とのコミュニケーション度合いに着目しながら、今後の各現場での同朋会運動推進のための視座を提供すべく、編集を行った。今回の調査では、

これまでの教区別の分類や分析だけではなく、都道府県別、回答者の年代別の分析を行ったほか、寺院の状況に即した類型化を行うなど、本報告書を通じて、各寺院の状況を相対化して考察できるようにしている。報告書には専門的な内容も含まれるが、重要部分には下線を引くなど、要点が読みやすいよう工夫されている。

下記全体報告学習会のほか、各教区における報告学習会も今後順次開催予定。

◆第8回「教勢調査」報告書は、7月末の寺院・教会定期直送便にて全寺院・教会に送付します。

◆報告書は8月1日よりインターネット上でもご覧いただけます↓



(パスワード ksr2024)

お知らせ 第8回「教勢調査」全体報告学習会(オンライン)開催

第8回「教勢調査」報告書について、より理解を深めていただくため、分析結果の報告会をオンラインにて行います。

教団の課題や展望を確かめていただき、「一人の念仏者の誕生」のための歩みの一助としていただきたく、皆様のご参加をお待ちしています。

開催日時 2025年9月17日(水) 13:30~17:00(終了予定)

YouTubeでのライブ配信を行います。当日参加いただけない方は、後日公開するアーカイブ動画をご覧ください。

内 容 報告書執筆者による各章の分析報告

対 象 真宗大谷派の門徒・僧侶であれば、どなたでもご参加いただけます。

参 加 費 無料

参加方法 しんらん交流館ウェブサイト「浄土真宗ドットインフォ」の「お寺のお役立ち情報」内、「統計データを活用しよう!」から、ライブ配信(事後であればアーカイブ動画)のページへお入りください。



※ページにお入りいただくには、右記パスワードが必要です。【パスワード】 ksr2024



「死刑執行の停止、 死刑廃止を求める声明」を発表

「6
／
27」

6月27日、法務省が死刑確定者1名の死刑を執行したことについて、宗派では同日付で、宗務総長名による声明を発表した。

死刑執行の停止、死刑廃止を求める声明

本日、東京拘置所で1名の死刑が執行されたことに対し、遺憾の意を表明します。

真宗大谷派は、かねてより死刑執行の停止と死刑制度の廃止を求めてまいりました。仏教徒として全ての“いのち”を尊重していく立場から、死刑制度を容認することはできません。ここに重ねて、広く社会に対して呼びかけたいと思います。

言うまでもなく、人を殺める行為は許されるものではありません。被害者の無念やご遺族の痛み、悲しみは、察するに余りあります。犯罪に対して憎しみや嫌悪感を抱かれることもあると思います。

仏陀釈尊は、「怨みに対して怨みで返そうとすれば、いつまでも怨みはやむことがない」とお説きになりました。この教えを私たちが受け入れ、実践することは本当に難しいことです。であるからこそ私は、私たちの苦しみが除かれ、安らぎが与えられることを重ねて願われています。こうした仏の慈悲の眼は、あらゆる人びとに向けられており、深く悲しみ苦しんでおられるご遺族はもちろん、恐ろしい罪を犯した人、どんな人をも含みます。それは、人は誰もが置かれた境遇をきっかけにして罪を犯しかねない危うい存在であり、罪を生む社会は私たち一人ひとりが成り立たせているからです。この痛ましい存在に対して仏の慈悲は注がれています。

仏は私たちに「あらゆる衆生」と呼びかけています。いかなる“いのち”も尊く、殺していい“いのち”も、殺されていい“いのち”もあります。死刑は国家が行う殺人であり、私たちは、犯罪としての殺人も、刑罰としての殺人も望みません。

あらためて、死刑執行の停止と死刑制度の廃止を求め、社会の中で広く論議されることを願います。

2025年6月27日

真宗大谷派宗務総長 木越 渉

解放運動推進本部

第24回「女性会議」開催

テーマ「一人に立つ女性と仏教」――

【5/15・16】

五月十五日から十六日、京都大学白眉センター特定准教授の大谷由香氏を講師に招き、第二十四回「女性会議」が開催された。

一日目は女性室スタッフによる趣旨説明の後、「仏典にみる女性出家者の困難とその解消」の講題で講義があり、各教区からのパブリックビューイング参加者も含め、四十五名



大谷氏による講義

が参加した。二日目は講師と参加者で座談が行われた。講義では、釈尊在世時の出家教団が女性の出家を認めるのが困難だった背景として、インドの男性優位の社会状況と、

その社会を存立基盤とするために「時代の制限」があったことを確かめた。そして、インド・中国・日本において、それぞれ時代や社会の制限を受けながら、出家・仏道修行を望む女性のために尽力した男性僧侶が存在したことを、律蔵等に収録されている事例をもとに紹介された。

参加者からは、「戒律という視点からの話は、今までに聞いたことがなかったので大変興味深かった」「釈尊の時代にもそれはおかしいと声を上げた女性がいて、仏典として残っていることがすごい」といった感想が寄せられた。

宗務審議会「是旃陀羅」問題に係る經典読誦に関する委員会」設置

【5/23】

五月二十三日、しんらん交流館において第一回宗務審議会「是旃陀羅」問題に係る經典読誦に関する委員会」が開催された。

宗派は二〇一三年一月に部落解放同盟広島県連合会から『仏説観無量寿經』序分にある「是旃陀羅」の語に関する課題提起を受けて、「部落差別問題等に関する教学委員会」において報告書(本誌二〇一七年三月号参照)を取りまとめた。本委員会はその報告書を踏まえ、教学会議において協議された「經典読誦の方途」の指針(本誌二〇一九年八月号参照)に基づき、「(1) 真宗大谷派の法要式における經典



委員会の様子

読誦の意義について」「(2)「是旃陀羅」問題における教団の歴史的罪責に鑑みた、法要式における經典の読法の在り方について」を諮問事項として設置された。委員は、西受秀文氏(宗議会議員)、片山

寛隆氏(三重教区相願寺)、狐野秀存氏(金沢教区仁隨寺)、三木彰円氏(大谷大学教授)、鶴見晃氏(同朋大学教授)。

〈お詫びと訂正〉

本誌七月号六頁掲載の〈常会で議決された議案一覧〉において、左記のとおり誤りがありました。訂正いたしますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

宗会事務局

【訂正箇所】

- 〈誤〉30 ○ 審問院審事(谷 洋氏)の任命について承諾を求める件
- 31 ○ 審問院審事(渡邊 信氏)の任命について承諾を求める件
- 〈正〉30 ○ 審問院審事(谷 洋氏)の任命について承諾を求める件
- 31 ○ 審問院審事(渡邊 信氏)の任命について承諾を求める件

委員会当日は、各委員に委嘱状が伝達された後、会長選定の互選が行われ、片山寛隆氏が会

教団の動き

「第53回教区同朋大会 令和6年 能登半島地震 奥能登豪雨物故者 追弔法会」勤修

「つながりの再生」を願って

六月二十一日、能登教務所（済美精舎）にて、「第五十三回教区同朋大会」が「令和6年能登半島地震 奥能登豪雨物故者追弔法会」として開催された。大谷暢裕門首、サチカ夫人、木越渉宗務総長、轡田普善参務が参加し、教区内寺院・門徒を中心に三五〇名が参拝した。

能登教区

〔6/21〕



満堂の中、物故者追弔法会が勤修された



馬道氏の感話

はじめに大窪祐宣氏（教区教化委員会総合教化本部長）より、「教区同朋大会は「つながりの再生」をテーマに開催してきた。ご遺族、被災者の悲しみの心に寄り添いながら、同朋の声を聞き、つながりの再生への道をともにたずねてまいりたい」と挨拶があった。その後の勤行では門首登高座のうえ表白、阿弥陀経読経があり、また正信偈が同朋唱和された。勤行後、仮設住宅や避難先でも念仏の生活を営んでいたことを願いとした「災害見舞御本尊」が、門首より門徒を代表して穴水組の馬道百合子氏に贈呈され

はじめに大窪祐宣氏（教区教化委員会総合教化本部長）より、「教区同朋大会は「つながりの再生」をテーマに開催してきた。ご遺族、被災者の悲しみの心に寄り添いながら、同朋の声を聞き、つながりの再生への道をともにたずねてまいりたい」と挨拶があった。その後の勤行では門首登高座のうえ表白、阿弥陀経読経があり、また正信偈が同朋唱和された。勤行後、仮設住宅や避難先でも念仏の生活を営んでいたことを願いとした「災害見舞御本尊」が、門首より門徒を代表して穴水組の馬道百合子氏に贈呈され

はじめに大窪祐宣氏（教区教化委員会総合教化本部長）より、「教区同朋大会は「つながりの再生」をテーマに開催してきた。ご遺族、被災者の悲しみの心に寄り添いながら、同朋の声を聞き、つながりの再生への道をともにたずねてまいりたい」と挨拶があった。その後の勤行では門首登高座のうえ表白、阿弥陀経読経があり、また正信偈が同朋唱和された。勤行後、仮設住宅や避難先でも念仏の生活を営んでいたことを願いとした「災害見舞御本尊」が、門首より門徒を代表して穴水組の馬道百合子氏に贈呈され

2024年度「同朋会館嘱託補導 奉仕研修」開催

「テーマ「嘱託補導の奉仕団」

「お互いに耳を傾けよう」

本年一月から六月までの毎月一回、同朋会館において「二〇二四年度同朋会館嘱託補導奉仕研修」が開催され、計三十八名が参加した。同朋会館嘱託補導は、全国から上山する奉仕団をサポートする業務を担っており、同朋会館教導と共に教区からの推薦を受けて任



研修の様子

用されている。同研修は三泊三日の奉仕団の皆さんで実施。日程はお互いの課題や疑問を話し合うことから始まり、諸殿拝観やお内仏のお給仕等の実践も交えながら、担当教導からのアドバイスを受け、指導の業務を一つずつ丁寧に確かめた。参加者からは、「経験を積むにつれ、失敗しないマニュアル」を確立させ、それを握りしめてしまっていた自らの姿が問われた」「ひとつひとつの業務に関わる願いをあらためていただきなおし、自らにとつての真宗本廟奉仕とは何かを問い、学び続けていきたい」「真宗本廟奉仕に参加される方々の声を聞き、いただいた時と場を丁寧につくることの大切さを感じた」との感想があり、奉仕団の方々と聞法の場をつくっていく大切さを確認した。次年度は任期改選に伴い新任の嘱託補導を対象として開催する予定。

長に選ばれた。その後木越渉宗務総長から本委員会の設置に至った経緯と諮問事項の説明

がなされ、各委員による意見交換が行われた。今後、二〇二五年度内に答申書を提出する

ことを目途として審議が進められる。

山陽教区

【5/17】

「被爆80周年非核非戦のつどい」開催

— 非核非戦のつどい —

〜 私・現在・未来 〜

五月十七日、広島JMSアステールプラザにて「山陽教区被爆八十周年非核非戦のつどい」非核非戦のつどい〜私・現在・未来〜が開催された。来賓として大谷暢裕門首、大谷サチカ門首夫人、木越渉宗務総長が参列し、教区内外から五三六名が参加した。開会式では勤行に続き、日野雅範実行委員長と大谷暢裕門首より挨拶があった。

第一部では「被爆証言者に聞く」と題し、被爆体験証言者の切明千枝子氏と対話者の佐藤優氏、コーディネーターの長坂知春氏（芸南組明慶寺）による鼎談と切明氏の体験を基に詠まれた短歌の朗読が行われた。切明氏は、原爆により見知った人たちが全身火傷を負って亡くなっていた広島島の惨状を語り、

た。

引き続き「同朋の声を聞く」と位置付け、馬道氏より感話があり「震災後、何をするにつけ念仏が出てくる。親鸞聖人の言葉は、私たち一人ひとりの力となって歩ませてくれる力がある。先ほどの法要の力強い声の響きは生涯忘れない」と話された。

木越宗務総長の法話では、関係性の大切さを伝えているのが仏法であることが確かめられ、「隣の人の念仏を聞いて一人で念仏できない私の口から念仏が出る。隣の人の念仏が聞こえる場を取り戻す。それが全同朋の願いである」と語られた。

最後に上田義雄氏（教区門徒会長）より「こ



切明氏による被爆体験証言

比治山陸軍墓地から
非核非戦フィールドワーク
見える広島市内

のもと、池田氏は「仏の立場に立脚した非核非戦の立場を貫くことこそ、私たちの今日、過去、未来を貫く本当の生き方です」と語り、人間を善に向かわせる理性こそが人間を破滅させる欲望そのものでしかないことへの覚醒が現代の課題であると示し、「真理に謙虚たれ」と私たちの在り方を確認した。記念法話後には「非核非戦のつどい宣言」が朗読され、木越宗務総長と加藤真樹教化委員長からの挨拶があり、つどいは閉会した。

つどい開催に関連して、三月には「児童春のつどい」にて子どもたちと共に、会場に荘厳される打敷の製作が行われた。また四月には広島市内の戦争遺跡を巡り、非核非戦の願いを確かめる「非核非戦フィールドワーク」などの記念事業も実施。忘却の時代ではなく伝承の時代に向かうため、私たちを貫く願いと課題を共有する節目となった。

第二部では、池田勇諦氏（同朋大学名誉教授）による記念法話が予定されていたが、池田氏が体調を崩されたことにより、病室にて撮影されたビデオメッセージと法話原稿の代読が行われた。「非」の自覚に起つ」の講題

（山陽四国教区通信員・青山祐二）

教 団 の 動 き

真宗大谷派学校連合会

〔5月〕

関係学校が真宗本廟参拝・研修を行う

五月に宗派学校連合会加盟校による真宗本廟参拝・研修が行われた。実施校は左記のとおり。

〔参拝〕

◇大谷高等学校「京都」〔仏教に学ぶ〕

三十八名／五月一日

◇大谷高等学校「京都」〔留学生〕

三名／五月七日

〔研修〕

◇京都光華中学校本山研修〔一年生〕

二十名／五月十三日～十四日

◇京都光華高等学校本山研修〔一年生〕

九十四名／五月十四日～十五日

◇大谷大学一泊研修〔「化学演習Ⅱ」〕

二十名／五月二十四日～二十五日

◇愛知啓成高等学校〔三年生〕

二一〇名／五月二十一日

◇大成高等学校〔新入生〕

一五九名／五月二十三日

◇大谷高等学校「京都」

〔同校および他校美術科教員〕

二十三名／五月二十三日



大谷大学（5月24日）



大成高等学校（5月23日）

東京宗務出張所

〔5/9〕

第21回「真宗大谷派関係国会議員同朋の会」開催

―宗参両院の国会議員が―

一同に会し聞法―

五月九日、「真宗大谷派関係国会議員同朋の会」が東京都内のホテルを会場に開催された。

本会は宗派に縁のある衆参両院の国会議員五十四名が所属し、今年で二十一回目を迎える。当日は三十六名が出席し、宗派からは、大谷裕新門、木越渉宗務総長、佐々木高参務、轡田普善参務（首都圏教化推進本部長）らが



同朋の会の様子



一楽氏による講話

大谷裕新門、木越渉宗務総長が挨拶を述べた。続いて、一楽真氏（大谷大学学長）より「南無阿弥陀仏―人間になる道―」をテーマに講話をいただいた。

一楽氏は、南無阿弥陀仏は自分の願いを叶えるための呪文ではなく、人間になる道であるのだと押さえられ、「涅槃経」に説かれる阿闍世王の物語を紹介。縁によつてどのような過ちも犯してしまうのが人間であり、そうした愚かな自己を省みる惭愧の心に立ち、その事実を受け止めていくこそが、阿弥陀仏との出遇いなのだと言われた。そして、どんな者をも分け隔てしない阿弥陀の

出席した。

進行は勝目康世話人のもと行われ、遠藤利明代表世話人の開会挨拶に続き、宗派からは

無阿弥陀仏―人間になる道―をテーマに講話をいただいた。

お知らせ**真宗大谷派寺院教会名簿のウェブページ
閲覧用パスワードについて**

宗派公式ウェブサイト「寺院の方へ」ページ内に、「真宗大谷派寺院教会名簿」を掲載しています。

利用にあたっては、ページ内の注意事項に十分ご留意いただき、ご活用ください。

- 名簿掲載ページ <https://www.higashihonganji.or.jp/ohtaniha/list/>
- パスワード otanihajiin

■救援金のお願い

宗派では、このたびの「令和6年能登半島地震」に対する救援金の勧募を行っております。皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。

【救援金口座】 郵便振替口座番号 00920-3-203053

【加入者名】 真宗大谷派 ※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。

【令和6年能登半島地震指定救援金総額】

247,515,965円 (7月2日現在)

※宗派救援金口座及び境内救援金箱に寄せられた救援金の総額

〈最新情報はこちら〉

宗派公式ウェブサイト→



宗派災害情報公式X→

**第50回「京の夏の旅」御影堂門楼上・涉成園 燕申堂 特別公開**

京都市・京都市観光協会主催のキャンペーン「京の夏の旅」において、東本願寺の「御影堂門楼上」・「えんしんどう涉成園 燕申堂」を特別公開します。

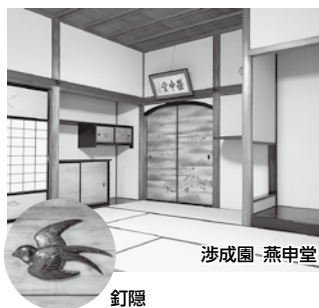
この機会にぜひ拝観ください。

期間 7月11日(金)～9月30日(火)

時間 10時～16時30分 (16時受付終了)

※「涉成園 燕申堂」を拝観される場合は、涉成園の拝観受付を15時45分までにお通りください。

詳しくは「京の夏の旅特設サイト」をご覧ください。



涉成園-燕申堂

釘隠

はたらきにふれる中で、自己中心的なあり方に気付かされ、苦しみを生み出し続ける人間の愚かさを見つめていくことが、南無阿弥陀

仏が開く生き方なのだと結ばれた。会の最後には、逢坂誠二世話人より挨拶と謝辞が述べられ、佐々木参務の御礼の挨拶を

もって閉会した。

九州教区**「原爆80年 非核非戦法要・非核非戦のつどい」開催**

本年は原爆投下から80年を迎えます。そこで、下記のとおり「九州教区 原爆80年 非核非戦法要」・「原爆80年 非核非戦のつどい」を勤修・開催いたします。

有縁の方々をお誘い合わせのうえ、ぜひご参拝ください。

全国からのお参りをお待ちしています。

◆「原爆80年 非核非戦法要」(申込不要)

日 時 2025年8月9日(土)
12時30分受付開始・13時開式

会 場 長崎教会

講 師 森 達也 氏 (映画監督・作家)
※入場無料

YouTubeでのご視聴はこちら➡



九州教区
公式YouTube

**◆「原爆80年 非核非戦のつどい」**

テーマ 「あなたはどんなくにを願いますか～人間にかえろう～」

日 時 2025年9月7日(日)
12時30分受付開始・13時開会

※つどいに先立ち、長崎教会から出島メッセ長崎まで「平和行進」を行います。

(平和行進：9時30分受付開始・10時出発式)

会 場 長崎教会・出島メッセ長崎

講 師 尾畑 文正 氏 (三重教区員弁組泉稱寺前住職)
※入場無料

右の申込フォームもしくは九州教務所まで
お電話にてお申し込みください。

九州教務所TEL：0942-32-3056



日程等の詳細は九州教区公式ウェブサイトをご覧ください。

【お問い合わせ】九州教務所 (担当：玉井・岩倉)

TEL：0942-32-3056

E-mail：kyushu@higashihonganji.or.jp



お知らせ 『坂東本 教行信証』カラー影印縮刷本 予約受付中

宗祖親鸞聖人の主著であり、浄土真宗の根本聖典である『教行信証』。特に「坂東本」と呼ばれる『教行信証』は、唯一の宗祖自筆本です。

『顯浄土眞實教行證文類〈翻刻篇〉』や『宗祖親鸞聖人著作集一』、『真宗聖典 第二版』と照応しながら、宗祖の著述に基づく学びを深めていただくことを願い、『坂東本 教行信証』カラー影印縮刷本を発行します。



『坂東本 顯浄土眞實教行證文類』 カラー影印縮刷本

掲載内容（四分冊）

- 〈一〉「教巻・行巻」を収載
160頁
- 〈二〉「信巻」を収載
192頁
- 〈三〉「証巻・眞仏土巻」を収載
144頁
- 〈四〉「化身土本巻・化身土末巻」
を収載 232頁

※各頁数は予定

聖教編集室 編
A4変形判（縦30.5cm×横23cm）・オールカラー・箱付き

◆カラー影印縮刷本について

- ①影印本とは複製本のことです。この本は、「坂東本」の本文全頁の写真をカラーで掲載し、「坂東本」の頁割と同様に画像を配置しました。
- ②「坂東本」の約90%の縮尺で写真を掲載しています。
- ③翻刻文と合わせて活用いただけるよう、『顯浄土眞實教行證文類〈翻刻篇〉』の頁数を併記しています。

予約受付について

期間：2025年6月1日～9月15日

価格：99,000円(税込・送料込) → 予約期間の注文に限り79,200円(税込・送料込)

※寺院・教会割引は適用されません。

- ①東本願寺出版公式オンラインショップにてご注文いただけます。はがき・メール・FAXでのご注文の場合は、お名前・住所・電話番号・部数を明記の上、「東本願寺出版」までお送りください。
※高額のためお電話での注文は受け付けておりません。何卒ご了承ください。
- ②発送時期は、2025年11月下旬を予定しております。
- ③お知らせいただきました個人情報は、書籍の送付・請求以外に使用いたしません。

■東本願寺出版（真宗大谷派宗務所出版部）
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
E-mail : books@higashihonganji.or.jp FAX : 075-371-9211

東本願寺出版

検索



教 団 の 動 き

宗務所から

【6月】

教育部

▼真宗大谷派学校連合会第二十回

「事務職員研修会」20日 ▼保護司会役員会

23日 ▼「グリーフの学び」研究協議会 24

日 ▼大谷保育協会カリキュラム研修会 25

日・26日 ▼二〇二四年度学階銓衡会 26日

▼董理院会議・懇談会 同日 ▼真宗大谷派

学校連合会第二十九回「校長協議会」27日・

28日 ▼大谷保育協会広報部会 30日

研修部 ▼宣誓式 3日・8日・11日・15日・

19日・22日・28日 ▼真宗本廟子ども奉仕団

スタッフ事前研修会 4日～5日 ▼同朋会
館嘱託補導奉仕研修 9日～11日 ▼二〇二五
年度上半期教師修練スタッフ事前研修会 17
日～18日 ▼住職修習 26日～28日

組織部 ▼坊守会連盟編集会議 17日 ▼第
七期第十八回中央門徒戸数調査委員会 19日

▼坊守会連盟常任委員会 23日～24日 ▼得
度式 24日 ▼第三回宗務審議会「寺院・教
会の施設に係る新たな復興共済制度の検討に
関する委員会」25日

解放運動推進本部 ▼女性室会議 4日
▼ハンセン懇広報部会 5日 ▼ハンセン懇

第一連絡会 12日～13日 ▼解放運動推進本
部本部会議 26日 ▼ハンセン懇真相究明部
会 30日

青少幼年センター ▼「どうぼうしんぶん
きつず」編集会議 4日 ▼◎青少幼年セン
ター会議 16日 ▼同朋ジュニア大会事前研
修会 17日～19日 ▼◎青少幼年教化教材プ
ロジェクト会議 23日 ▼◎仏教青年同盟常
任委員会 24日 ▼◎真宗大谷派合唱連盟常
任委員会 26日 ▼◎ひとりからはじめる子
ども会講習会プロジェクト会議 30日◎は
ウェブ会議。

左記の掲載内容は6月30日現在の予定であり、変更・中止となる場合があります。何卒ご了承ください。

教区から

【8月】

北海道教区

▼8月16日、「北海道教区第七十五回北海御

廟万灯会」。講師は寺田沙世氏（第四組浄見

寺）。会場は北海御廟本堂▼21日、「東本願

寺会館公開講座」。講師は埴山和成氏（第

十五組法願寺）。テーマは慶讃テーマ「南無

阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたず

ねていこう」▼23日、「大谷保育協会北海道

支部夏の研修大会」。講師は寺澤三郎氏（第

十三組教證寺）・馬場克典氏（公益社団法人

北海道私立幼稚園協会主幹）。テーマは「最

高のチームを目指す！エンゲージメント研

修」。会場は札幌別院大谷ホール▼26日～27

日、「北海道学園連合会役職者研修会」。講師
は乾文雄氏（大谷高等学校校長）・佐藤昌彦
氏（北海道総務部行政局学事課長）※以上で
会場の記載のないものはすべて北海道東本願
寺会館（北海道教務所）。

東北教区

▼8月2日14時30分～16時30分、「東北別

院市民講座」。講師は太田良平教区駐在教

導。会場はエルパーク仙台（宮城県仙台市）

▼7日～8日各日7時～、「東北別院暁天講

座」。講師は畠山和千氏（秋田県北組浄應寺）。

会場は東北別院▼18日～19日、「子どものつ

どいin福島」。会場は伊達市保原総合公園簡

易宿泊所「とまっぺ」（福島県伊達市）▼21

日～22日、「山形教会暁天講座」。会場は山形

教会▼28日13時30分～15時30分、「東北別院
御命日法要」。講師は海岸秀道東北別院輪番。
会場は東北別院。

東京教区

▼8月4日11時～12時、「如信上人御廟所

「法龍寺」ご命日のつどい」。講師は深栖將稔

氏（茨城一組阿彌陀寺）。会場は如信上人御

廟所法龍寺▼6日6時30分～、「甲府別院光

澤寺暁天講座」。講師は佐々木昌信氏（群馬

組浄應寺）。会場は甲府別院光澤寺▼同日14

時～17時、「第一回部落問題基礎講座」。講師

は中山量純解放運動推進本部本部委員。内容

は「是旃陀羅」問題のゆくえ。研修冥加

金100円。会場は東本願寺「真宗会館」及び

Zoom▼9日13時30分～、「横浜別院定例法

話」。講師は目崎明弘氏(湘南組三寶寺)。会場は本願寺横浜別院▼18日13時30分～15時、「横浜別院正信偈の会(お勤めのお稽古)」。講師は家本久和横浜別院列座。内容は正信偈真四句目下など。参加費無料。事前申込不要。会場は本願寺横浜別院▼21日10時30分～12時、「甲府別院光澤寺孟蘭盆会法要」。講師は須賀力氏(東京五組道教寺)。会場は甲府別院光澤寺▼23日14時～15時30分、「横浜別院グリーンフケアの集い」。内容は勤行・座談など。参加費無料。事前申込不要。会場は本願寺横浜別院▼25日～26日各日7時～8時45分、「本願寺横浜別院暁天講座」。講師・講題は25日不破英明氏(大垣教区圓龍寺)・「生老病死の身」、26日佐竹真城氏(武蔵野大学仏教文化研究所客員研究員・浄土真宗本願寺派僧侶)・「金沢文庫・称名寺と浄土宗」。参加費無料。事前申込不要。会場は本願寺横浜別院▼27日13時～17時、「東京教区「聖典学習会」」。講師は青柳英司教学研究所研究員。内容は「観経疏」に学ぶ。参加費1,000円。要事前申込。会場は東本願寺「真宗会館」及びZoom▼28日13時30分、「横浜別院定例法話」。講師は家本久和横浜別院列座。会場は本願寺横浜別院▼同日10時30分～12時、「甲府別院光澤寺ご命日のつどい」。講師は千野宗雄氏(山梨組正宗寺)。会場は甲府別院光澤寺。

新潟教区

▼8月5日6時30分～8時、「高田別院暁天

講座」。講師は大場正信氏(第五組善正寺)。会場は高田別院▼6日6時30分～8時、「高田別院不戦平和の誓いの鐘」。講師は石井浩順氏(第三組浄念寺)。会場は高田別院▼6日・27日各日18時30分～20時、「三条別院書道教室」▼8日12時30分～16時、「べついでん寺子屋」。会場は新井別院▼12日、「御命日」。会場は高田別院▼13日7時～7時30分、「孟蘭盆会」。会場は高田別院▼18日～20日、「児童夏の集い」。会場はニュー・グリーンピア津南(新潟県津南町)▼19日～21日、「高田地区青少年キャンプ」。会場は池の平青少年センター▼21日・28日各日14時～16時、「教化センター学習会」。講師は21日田澤一明氏(第十九組明誓寺)、28日三明智彰氏(東北教区明教寺)▼21日～24日各日6時～8時、「三条別院朝の人生講座」▼22日、「声明基本講習会」▼25日13時～16時、「女性研修会事前学習会」▼27日13時30分～15時、「ご命日のつどい」。会場は高田別院▼同日13時30分～14時30分、「宗祖御命日建夜法要」▼28日10時～12時、「宗祖御命日中法要」。法話講師は小林智光氏(中越十二組浄照寺)。テーマは「御文」(二帖目第六通)※以上で会場の記載のないものはすべて三条別院。

富山教区

▼8月1日10時30分、富山市真宗大谷派協会(富山小会)主催「戦死・戦災死者追弔法要兼申経法要(八一法要)」。会場は富山別院▼1日～3日各日6時、井波別院「暁天講

座」。講師は1日太田浩史氏(第三組大福寺)、2日馬川透氏(第三組眞教寺)、3日竹部俊恵氏(第四組妙蓮寺)。会場は井波別院▼13日13時30分～15時30分、井波別院「両度の御命日法話会」。会場は井波別院▼13日～16日、井波別院「孟蘭盆会」。会場は井波別院▼14日～16日各日6時、城端別院「暁天講座」。講師は14日釜田哲男氏(第二組教願寺)、15日亀渕卓城端別院輪番、16日馬川透氏(第三組眞教寺)。会場は城端別院▼14日～16日各日13時30分、城端別院「孟蘭盆会」。会場は城端別院▼15日10時、富山別院「孟蘭盆会兼開基上人御命日中」。会場は富山別院▼20日13時30分、城端別院「仏教講座」。講師は亀渕卓城端別院輪番。会場は城端別院▼24日13時30分～15時30分、井波別院「おとめの会」。講師は井波別院列座。会場は井波別院▼28日13時30分～15時30分、井波別院「二十八日講法話会」。会場は井波別院。

能登教区

▼8月1日～2日各日7時～8時、「暁天講座」。講師は谷釜了正氏(第四組正久寺)・屋超氏(第七組浄明寺)▼19日～21日、「二〇二五子どものつどいin東本願寺」。会場は東本願寺同朋会館※以上で会場の記載のないものはすべて能登教務所(済美精舎)。

金沢教区

▼8月7日15時～17時、「サンガ茶話会」▼10日・28日・29日・30日各日18時30分～20時30分、夏季公開仏教講座「聞」。講師・講

教団の動き

題は10日采翠晃氏(京都教区長光寺・大谷大学教授)・「仏教者は(偉人)なのか」鳩摩羅什を中心に―」28日佐野明弘氏(大谷専修学院院长)・「信心獲得」29日伊勢研思氏(岡崎教区称念寺)・「信心なのか、聴聞なのか」30日本林靖久氏(第10組妙成寺・大谷大学非常勤講師)・「樹木葬に見る墓の系譜」聴講料1000円。主催は金沢教区仏教青年連盟▼19日・21日、「金沢教区子ども奉仕団」。会場は真宗本廟。主催は金沢教区児童教化連盟▼23日15時・17時、「心の相談室」。会場はいちよう館(山門横)※以上で会場の記載のないものはすべて金沢別院または金沢教務所。

小松大聖寺教区

▼8月1日・4日各日5時45分・7時30分、「暁天講座」。講師・講題は1日福田正充氏(能登教区正覺寺)・「ボランティア活動からみえてくる能登の現状について」2日英月氏(真宗佛光寺派大行寺)・「今さら聞けない他力・他力と自力って、何?」3日難波教行教学研究所所員・「真宗兒童聖典」に込められた「願い」4日篠原敬氏(珠洲焼遊戯窯作家)・「珠洲焼復興へーみんなで珠洲の未来を創る」。会場は1日・2日小松大聖寺教務所(サテライト会場は大聖寺教務支所)3日・4日大聖寺教務支所▼12日9時30分・11時30分、「十二日講」。講師は滋野井光氏(第二組稱佛寺)▼19日14時・20日11時15分、「伝道研修」。講師は五辻信行氏(大垣教区光福寺)。テーマは「新宗憲に込められた宗門

の願い」。参加費1000円。会場は大聖寺教務支所※以上で会場の記載のないものはすべて常磐会館(小松大聖寺教務所)。

福井教区

▼8月2日・3日、「夏の子どものつどい」▼20日10時・12時、「月例法話」。講師は日下部求氏(第四組浄明寺)。内容は『御文』五帖目九通「安心の一義」▼25日10時・12時、「吉崎別院二十五日講」。会場は吉崎別院※以上で会場の記載のないものはすべて福井別院(福井教務所)。

岐阜高山教区

▼8月1日・2日各日6時・7時30分、「暁天講座」(岐阜地域)。講師は1日曾我謙成氏(京都教区等倫寺)2日凡恵憲氏(京都教区開信寺)。協賛券500円。会場は岐阜別院

▼1日・5日各日6時30分、「ご坊さま夏の暁天講座」。講師・講題は1日藤場俊基氏(金沢教区常讃寺)・「心に残るお葬式」2日三井祐子氏(がんサークル「Owls」代表)・「喪失から与えられたもの」3日藤枝真氏(大谷大学教授)・「鈴木大拙『日本の霊性』と現代の宗教性」4日金龍静氏(元本願寺資料研究所副所長・本願寺派円満寺)・「真宗八百年の歴史に学ぶ」5日三島多聞高山別院輪番・「戦後八十年に当たり―戦争孤児の願い」。会場は高山別院照蓮寺▼1日・5日各日9時・「飛騨学場」▼1日・3日、「本講」。講師は藤場俊基氏(同前)。講題は『浄土論』『浄土論註』が開く仏教観―浄土

を共有しようとする精神―」▼4日・5日、「次講」。講師は金龍静氏(同前)。講題は「戦国期飛騨真宗史の諸問題」。会場は高山別院照蓮寺▼9日・10日各日6時・「竹鼻別院人生講座」。講師は9日蒲池勢至氏(同朋大学仏教文化研究所研究顧問)10日羽部玲子氏(第十五組安樂寺)。当日券500円。会場は竹鼻別院▼20日14時・16時、「仏教公開講座」。講師は木戸季市氏(日本原水爆被害者団体協議会事務局長)。講題は「核兵器禁止条約二度と被害者をつくらないために」。当日券500円▼26日19時・21時、「教化学研修室(基礎学)」※以上で会場の記載のないものはすべて岐阜高山教務所。

大垣教区

▼8月5日13時・15時、「大垣別院同朋の会」。講師は竹中照真氏(第六組浄誓寺)。テーマは「私にまで届いた念仏」。参加費500円▼7日8時30分・10時30分・15時・17時、「寺カフェ」。会場は大垣別院▼9日9時・11時、「寺子屋ゴボちゃん」。会場は大垣別院本堂▼18日19時・21時、「大垣別院仏教公開講座」。講師は海法龍氏(東京教区長願寺)。テーマは「はじめてに帰る」。参加費600円。会場は大垣別院▼20日14時・17時、「仏華講習会 平常時の本堂の立華―基礎編」。講師は仏華研究会「ちいちの華」澤田見氏(大阪教区清澤寺)・栗田和貴氏(大阪教区円照寺)。参加費400円。要事前申込(8月12日締切)▼25日9時30分・12時、「大垣教区同朋の会推進員

連絡協議会開法会」。講師は藤卓見教区駐在教導▼25日・26日、「寺子屋ゴボちゃんお泊まり会」※以上で会場の記載のないものはすべて教区同朋会館。

岡崎教区

▼8月1日・3日各日5時30分、「三河別院暁天講座」。講師は1日英月氏(真宗佛光寺派大行寺)、2日鑑弘信氏(京都教区西念寺)、3日一郷正道氏(第三十四組真勝寺)▼20日10時・11時、三河地域教化センター「儀式の研鑽」。講師は榎室行博氏(第七組専念寺)。テーマは「声明にふれる」。対象は二〇二六年に得度考査を控えた方。会場は三河別院▼22日6時、「赤羽別院暁天講座」。講師は大溪正浩氏(第九組正向寺)▼同日11時・岡崎教区児童教化連盟「サマーキッズ・サンガ」。内容はおつとめ、おはなしの後に大運動会、手作りラーメンを楽しみ、日程の最後にはキャンプファイヤーを行います。先着30名。参加費800円。会場は岡崎教区会館及び三河別院境内。

名古屋教区

▼8月1日・3日各日6時15分・8時30分、「はやおき鳥」。会場は名古屋別院対面所▼8日・18日・28日各日16時・20時、「東別院暮らしの夜市」。会場は名古屋別院境内▼12日、「御坊縁日「一如さん」」。会場は名古屋別院境内▼20日・21日(一泊二日)、教区児童教化連盟「夏のつどい」。テーマは「日本昔あそびくみんなでつくろう!たのしもう!!」。

講師は藤田由仁氏(日本独楽博物館館長・日本こままわし協会会長)。申込は名古屋教務所まで。会場は名古屋別院境内▼27日14時・15時30分、「門徒声明」。内容は「正信偈」の稽古。会場は名古屋別院本堂下広間。

三重教区

▼8月3日7時・8時、「桑名別院人生講座」。講師は渡邊啓氏(員弁組西願寺)。参加費500円。会場は桑名別院本堂▼29日・30日各日18時・21時、「桑名別院夜間特別参拝」。内容はナイトマルシェ・ライトアップ・ワークショップ。会場は桑名別院本堂・諸殿・境内。

京都教区

▼8月5日・8日、「五村別院夏中」。講師は5日谷大輔氏(近江第二組良覺寺)、6日富田正孝氏(長浜第十三組聴信寺)、7日興法慶実氏(敦賀組隆法寺)、8日佐々木尚氏(福井教区専光寺)▼各日6時、「暁天講座」。5日三山岳氏(長浜第十三組真勝寺)、6日古松了真氏(長浜第二十三組頓念寺)、7日曾我朋子氏(長浜第十二組等倫寺)、8日藤森了英氏(長浜第二十三組真西寺)▼8日9時・「師徳奉讃法要」▼19日・20日、「第六十四回児童大会」。テーマは「いのちであい・つながり・ひびきあい」。会場はピラデスト今津(滋賀県高島市)▼21日・22日、「夏期教師試験検定準備学習会」。講師は真宗学・伊東恵深氏(元同朋大学准教授)、仏教学・松下俊英教学研究員、声明作法・仁科高遠氏(教区内准堂衆)、法規・五辻広

大総務部主事。会場は京都教区会館(京都教務所)※以上で会場の記載のないものはすべて五村別院。

大阪教区

▼8月14日16時・18時、「パソコン相談室」。要事前申込。申し込みは大阪教務所まで。会場は難波別院同朋会館青少年ルーム▼19日・20日、「児童連盟サマーキャンプ」。会場は和歌山県立紀北青少年の家(和歌山県伊都郡)。

山陽四国教区

▼8月5日14時・15時、「広島別院定例法話」。講師は三須誠氏(備後組寶田院)。会場は広島別院明信院▼6日14時・16時、「赤穂別院同朋の集い」。講師は浅野尚磨氏(赤穂組専法寺)。会場は赤穂別院妙慶寺▼12日・27日各日13時・15時、「姫路船場別院本徳寺定例法話」。講師は12日藤本潤氏(第六組正覺寺)、27日後藤海氏(第七組光圓寺)。会場は姫路船場別院本徳寺▼19日・21日、「児童教化連盟こども夏のつどい」。会場は真宗本廟同朋会館。要事前申込▼28日13時・15時、「土佐別院ご命日のつどい」。講師は土佐別院輪番。会場は土佐別院。

九州教区

▼8月2日16時・17時30分、「親鸞聖人に学ぶ会」。講師は鹿児島別院職員。参加費無料。会場は鹿児島別院▼9日13時・16時、「原爆八十年非核非戦法要」。講師は森達也氏(映画監督・作家)。会場は長崎教会▼23日・24日、「門司教会盆法要」。講師は溝邊伸氏(三

教 団 の 動 き

井西組蓮明寺)。会場は門司教会▼25日16時〜17時30分、「歎異抄に聞く会」。講師は鹿児島別院職員。参加費無料。会場は鹿児島別院▼28日7時〜8時、「宗祖御命日晨朝兼日中・朝粥会」。会場は鹿児島別院▼同日10時〜12時、「四日市別院ご命日のつどい」。講師は四日市別院職員。会場は四日市別院▼同日13時〜15時、「宗祖御命日定例法座」。講師は佐世保別院職員。会場は佐世保別院▼同日13時30分〜16時、「長崎教会御命日定例法座」。講師は教務所員・教会担当。会場は長崎教会▼同日14時〜16時、「御命日同朋会」。会場は鹿児島別院伊敷支院▼同日15時15分、「御命日法話会」。講師は高田雅量氏(福岡組萬福寺)。参加費500円。会場は東本願寺仏事サポートセンター福岡。

※本欄へのお問い合わせは各教務所まで。

首都圏教化推進本部から

▼毎週日曜日10時〜12時、「日曜礼拝」。講師は3日荒川正憲氏(東京七組瑞法寺)、10日佐々木邦之氏(東京四組傳久寺)、17日牧野豊丸氏(福井教区託願寺)、24日近田聖二氏(東京七組顯真寺)、31日伊藤大信氏(横浜組西教寺)。10日は「孟蘭盆会」兼修▼20日14時〜16時30分、東京真宗同朋の会「まくはり会」。講師は百々海真氏(東京六組了善寺)。会場は了善寺(東京都港区)及びオンライン▼27日14時〜16時、「終活サポート講座」。講

師は小林尚樹氏(東京六組光明寺)▼28日10時〜12時、「ご命日のつどい」。講師は本多雅人氏(東京二組蓮光寺)▼30日18時〜20時、東京真宗同朋の会「サムドラの会」。講師は海法龍氏(三浦組長願寺)。会場は東京大学仏教青年会ホール(東京都文京区)及びオンライン※以上で会場の記載のないものはすべて東本願寺「真宗会館」。

※本欄へのお問い合わせは東京宗務出張所まで。

沖縄開教本部から

▼毎週土曜日10時〜11時30分、「土曜礼拝」▼毎週水曜日13時〜15時、「聖教輪読会」▼毎月最終金曜日18時30分〜20時、「ウエブリモート輪読会」※以上で会場の記載のないものはすべて東本願寺沖縄別院。

※本欄へのお問い合わせは沖縄開教本部まで。

開教区から

※日時はすべて現地時間。

南米開教区

<https://nigashihonganji.org.br>

▼毎週日曜日10時〜11時、「ブラジル別院日曜礼拝」(ポルトガル語)▼8月9日10時〜「父の日法要」(日本語・ポルトガル語)▼13日14時〜15時、「先門首御命日定例法話会」(音楽法要 日本語・ポルトガル語)▼28日14時〜15時、「宗祖親鸞聖人御命日定例法話会」(日本語・ポルトガル語)※以上の会場はすべてブラジル別院南米本願寺。

北米開教区

<https://nhbtl.org>

▼毎週日曜日10時〜12時、「ロサンゼルス別院日曜礼拝」(日本語・英語)※8月は第一週の3日のみ日曜礼拝開催▼8月17日9時〜14時、「ロサンゼルス別院フリーマーケット」※以上の会場はすべて東本願寺ロサンゼルス別院。

ハワイ開教区

<https://betsuin.hbt-hi.org>

▼毎週日曜日10時〜11時、「ハワイ別院日曜礼拝」(日本語・英語)▼9日19時〜22時、「ヒロ東本願寺盆ダンス」。会場はヒロ東本願寺▼28日10時〜10時30分、「宗祖親鸞聖人御命日勤行」※以上で会場の記載のないものはすべてハワイ別院。

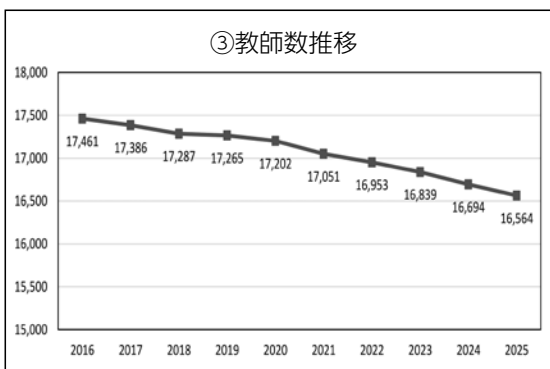
※本欄へのお問い合わせは組織部国際室まで。

9月以降の各教区・開教区等での教化事業は、しんらん交流館ウェブサイト「浄土真宗ドットインフォ」において掲載予定です。

この統計は、2025年7月1日現在の（1）組数、（2）寺院・教会数、（3）僧侶数、（4）教師数、（5）住職・教会主管者数、（6）代務者数、（7）坊守数を集計したものです。

教区別教師数			教区別住職・教会主管者数			教区別代務者数			教区別坊守数		
男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
914	140	1,054	407	6	413	30	2	32	0	279	279
602	125	727	330	13	343	52	7	59	3	200	203
858	154	1,012	422	15	437	19	3	22	1	283	284
1,124	247	1,371	586	26	612	58	10	68	1	320	321
667	151	818	381	10	391	41	7	48	0	197	197
540	85	625	296	9	305	30	4	34	0	162	162
564	131	695	288	9	297	11	4	15	0	146	146
210	60	270	106	4	110	8	0	8	0	59	59
333	41	374	167	7	174	16	1	17	1	101	102
527	121	648	283	7	290	17	2	19	0	169	169
623	164	787	340	12	352	32	4	36	0	153	153
708	152	860	368	12	380	31	4	35	0	244	244
1,236	262	1,498	602	17	619	35	6	41	0	338	338
322	90	412	168	8	176	28	5	33	0	110	110
1,425	246	1,671	806	28	834	173	13	186	0	483	483
988	262	1,250	516	19	535	50	19	69	0	325	325
593	145	738	299	9	308	35	7	42	1	178	179
1,444	278	1,722	670	14	684	60	7	67	0	347	347
13,678	2,854	16,532	7,035	225	7,260	726	105	831	7	4,094	4,101

教師数		
男性	女性	合計
8	2	10
9	2	11
1	0	1
9	1	10
27	5	32

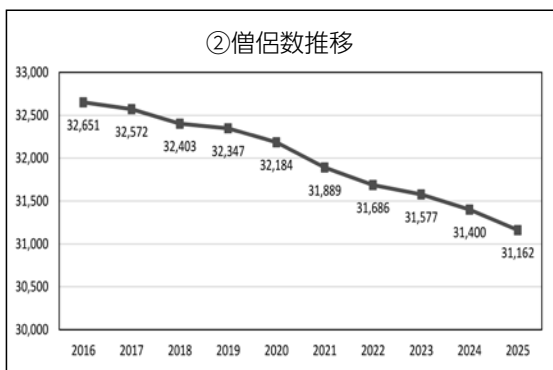
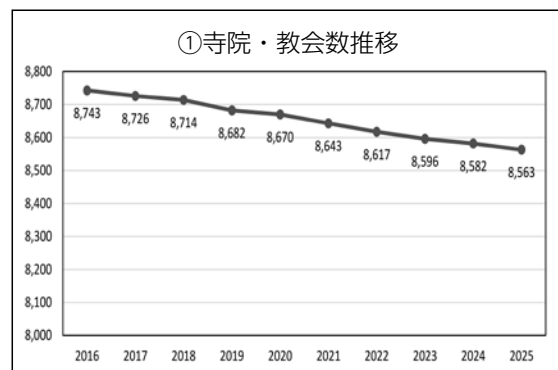


宗門現勢の報告

	教区名	組数	教区別寺院・教会数				教区別僧侶数		
			別院	普通寺院	教会	合計	男性	女性	合計
1	北海道	21	6	454	8	468	1,258	732	1,990
2	東北	25	2	409	5	416	817	432	1,249
3	東京	25	2	482	19	503	1,212	614	1,826
4	新潟	27	3	745	3	751	1,606	918	2,524
5	富山	13	3	453	1	457	986	626	1,612
6	能登	16	0	351	2	353	818	390	1,208
7	金沢	13	2	317	4	323	881	516	1,397
8	小松大聖寺	2	0	122	5	127	302	176	478
9	福井	10	2	210	1	213	508	243	751
10	岐阜高山	23	4	312	3	319	772	489	1,261
11	大垣	18	2	401	5	408	927	533	1,460
12	岡崎	36	4	419	11	434	1,085	507	1,592
13	名古屋	32	1	670	6	677	1,835	908	2,743
14	三重	11	1	213	4	218	454	269	723
15	京都	43	7	1,057	4	1,068	2,209	1,186	3,395
16	大阪	27	5	632	5	642	1,518	934	2,452
17	山陽四国	22	4	363	5	372	844	471	1,315
18	九州	26	3	800	11	814	1,920	1,201	3,121
合計		390	51	8,410	102	8,563	19,952	11,145	31,097

	開教区	別院・普通寺院・布教所等の数				僧侶数		
		別院	普通寺院	布教所等	合計	男性	女性	合計
1	南米開教区	1	22	7	30	20	8	28
2	北米開教区	1	3	1	5	13	4	17
3	ハワイ開教区	1	4	0	5	4	4	8
4	沖縄準開教区	1	0	0	1	10	2	12
合計		4	29	8	41	47	18	65

①寺院・教会数、②僧侶数、③教師数 2016年度から2025年度までの10年間の推移



※数値は国内の別院・寺院・教会の合計数

中央選挙管理委員会からのお知らせ**宗議会議員選挙における主な変更点について**

本年9月15日に実施される宗議会議員総選挙にあたり、宗議会議員選挙条例等が改正され、選挙日程をはじめ、郵便投票の拡大に伴う申請手続等が変更されましたので、お知らせいたします。

1 選挙日程の変更について

選挙事務の合理化・省力化を図ることを目的に、立候補届出期間などの選挙日程を変更しました。なお、以下に示す日程は、本年9月15日実施の総選挙の主な日程です。

- 8月19日(火) 選挙人名簿の作成基準日(中央選挙管理委員会)
- 8月20日(水) 選挙人名簿の閲覧開始日(教務所にて)
異議申立期間～8/25
- 8月22日(金) 選挙期日の告示日
- 8月25日(月) 立候補届出開始日～8/27
- 8月29日(金) 候補辞退最終日
- 9月3日(水) 郵便投票事前届出の最終日(選挙人→選挙区の選挙管理会)
- 9月5日(金) 投票管理者指定・投票所決定・投票立会人指定・開票期日決定最終日
- 9月8日(月) 郵便投票用紙発送最終日・選挙公報発送最終日(選挙区の選挙管理会→選挙人)
- 9月11日(木) 選挙運動最終日
- 9月12日(金) 期日前投票開始日～9/14(各日午前9時から午後5時まで)
- 9月15日(月) 選挙の期日(直接投票の日)(各日午前9時から午後5時まで)
郵便投票受付最終日(午後5時まで)

2 選挙人名簿及び閲覧について

有権者名簿を廃止して選挙人名簿に一本化するほか、総選挙が行われる年に全寺院・教会宛てに送付していた有権者明細書を廃止します。

また、選挙人名簿の縦覧制度を廃止して閲覧制度に一本化します。併せて、閲覧期間及び異議申立期間を変更します。

閲覧……………選挙人が、特定の者(本人を含む)が選挙人であるかどうかの確認のために選挙人名簿の記載内容を確認することです。

閲覧方法……………所定の申請用紙をご提出のうえ、教務所にて閲覧いただきます。

閲覧期間……………通年可能です。ただし、選挙が行われるときは、当該選挙に関する選挙人名簿の閲覧は、選挙の期日から数えて前27日から(このたびの総選挙では、8月20日から)可能となります。

異議申立……………選挙人が名簿に脱漏、誤載又は誤記があると認めたときは、文書をもって選挙管理会を経由して、中央選挙管理委員会に異議の申立をすることができる制度です。

異議申立期間……………通年可能です。ただし、選挙が行われるときは、当該選挙に関する選挙人名簿に対する異議申立は、選挙の期日から数えて前27日から開始し、前22日まで(このたびの総選挙では、8月20日から8月25日まで)となります。

なお、閲覧及び異議申立をされる場合は、休日、祝日及び教務所の事務休止日以外にお願いします。

3 無投票当選について

これまでの、議員候補者の数がその選挙区の議員の定数に満たないときは、その選挙で選出すべき議員の定数全員について再選挙を行う必要がありましたが、このたびの改正により、選挙の期日の前日においてもなお議員候補者の数がその選挙区の議員の定数に満たないときは、選挙の期日をもってその時点の候補者を当選人とし、その選挙で選出すべき議員の数に不足した数についてのみ補欠選挙を行うことになりました。

4 立候補に関する手続きについて

(1) 立候補に関する手続きについて

立候補届を郵送（書留速達又は簡易書留）により届け出ることが可能となり、併せて供託金（30万円）は振り込みでの送金が可能となりました。ただし、選挙運動の開始は、立候補届の受理及び供託金の振り込みが確認されてからとなります。立候補される場合は、選挙の期日から数えて前22日から前20日まで（このたびの総選挙においては、8月25日から8月27日まで）の間に、当該選挙管理会（教務所）へ手続きをお願いします。（郵送の場合は期間中に到着するよう手続きのこと）

なお、住職・教会主管者以外の教師が立候補する場合の住職・教会主管者又はその代務者の同意を得る期間は、選挙の期日から数えて前35日から前22日まで（このたびの総選挙においては、8月12日から8月25日まで）の期間となります。

(2) 立候補する役職者の辞任期限について

宗務役員、準宗務役員、選出教区会議員、組長、副組長、査察委員、中央選挙管理委員会の委員及びその補充員、選挙管理会の委員及びその補充員が立候補する場合は、当該選挙の告示日の前日まで（このたびの総選挙においては、8月21日まで）に各役職の辞任手続きを完了しておく必要があります。

5 投票について

(1) 投票の種類について

これまでの「不在者投票」を「期日前投票」として位置づけ直しました。これにより、投票は、以下のいずれかの方法により行うことができます。

- ①直接投票……選挙の期日である9月15日(月)に、組を単位に定められた投票区の投票所において投票します。
- ②期日前投票…選挙の当日投票所に行くことができない（直接投票できない）選挙人は、9月12日(金)～14日(日)の期間に、教務所に設置される投票所において投票することができます。
- ③郵便投票……直接投票又は期日前投票が困難な選挙人は、郵便投票が可能です。

(2) 投票所の開閉時間の変更について

直接投票及び期日前投票における投票所の開閉時間について、これまでの午前7時に開き、午後7時に閉じるようになっていましたが、郵便投票の拡大に伴い、午前9時に開き、午後5時に閉じるよう変更しました。

(3) 郵便投票の拡大について

これまでの、条例により郵便投票が認められている投票区及び寺院・教会に所属する選挙人、若しくは宗務の都合や身体の故障による場合のみに郵便投票が認められていましたが、このたびの改正により、交通事情やその他法務の都合によっても郵便投票が可能となりました。

《郵便投票について》

A：交通その他の事情により郵便投票を行うことがあらかじめ法規で定められた投票区又は寺院・教会に所属する選挙人は、郵便による投票（郵便投票）を行います。投票を行うこととなったときは、投票用紙等の必要書類を9月8日(月)を発送事務の完了期限として、寺院の所在地に送付します。

B：上記A以外の選挙人についても、直接投票又は期日前投票のいずれも行いうことができない特定の事由がある場合は、選挙管理会への事前の届出により、郵便投票を行うことができます。詳細は以下の内容をご確認ください。

①事前届出による郵便投票を行うことができる場合の事由

- ・交通事情その他居住地の都合による場合（Aに該当する寺院に所属する選挙人であって、寺院とは居所が異なる選挙人についても適用可能）
- ・入院、病気又は身体の故障による場合
- ・宗務又は法務等の都合による場合

②事前届出の方法

- ・届出期限までに、選挙区の選挙管理会（教務所）に所定の「郵便投票届出書」を書留郵便（書留速達又は簡易書留）で送付してください。
- ・届出書には、運転免許証の写しや住民票等、「本人の氏名、生年月日が確認できる証明書（本人確認書類）」の添付が必要です。
- ・届出書は、郵便投票を希望する選挙人1人につき、1通が必要です。他人の届出や家族分をまとめた届出などは受理することができません。
- ・届出書は、宗派公式ウェブサイトからダウンロードいただくか、事前に選挙区の選挙管理会（教務所）からお取り寄せください。

③事前届出の期限

9月3日(水) 17時必着

④事前届出の受理

選挙管理会にて郵便投票の事前届出を受理したときは、投票用紙等の必要書類を9月8日(月)を発送事務の完了期限として届出の住所に送付します。ただし、無投票となった場合は、その旨を別途お知らせします。

⑤郵便投票の方法

以下の順序で選挙管理会（教務所）宛に投票用紙を郵送します。

- ・投票する候補者一名の氏名を記入した投票用紙1枚を投票用封筒に入れて封をする。
- ・封をした投票用封筒を郵便用封筒に入れてさらに封をする。
- ・郵便用封筒の裏面に住所・氏名・記入年月日を記載する。
- ・選挙管理会（教務所）宛に書留郵便（書留速達又は簡易書留）にて郵送する。※9月15日(月)午後5時必着

⑥留意事項

- ・郵便投票は、事前の届出の際と実際に投票を行う際の2回、書留郵便（書留速達又は簡易書留）による送付が求められます。
- ・郵便投票を行う選挙人は、直接投票・期日前投票を行うことはできません。
- ・一旦届出が受理された後は、取りやめることができません。

6 開票の手続きについて

(1) 立会人の条件変更

開票開始の条件について、これまでは、会長、委員全員及び選挙管理事務長が出席しなければ開始することができませんでしたが、このたびの改正により、会長、委員2人以上及び選挙管理事務長の出席を開票開始の条件としました。

7 懲戒に関する改正について

不正郵便投票の非違について、最大懲戒種別を「軽懲戒」から「重懲戒」に変更しました。

また、暴力による非違は、故意による行為であることを明確にした上で、最大懲戒種別を「軽懲戒」から「重懲戒」に変更しました。

8 その他

- ・宗議会議員選挙条例を準用して行われている教区会議員選挙についても、一部を除き同様に改正しました。
- ・郵便投票の拡大に伴い、「東日本大震災に伴う宗議会議員選挙の投票所の設置及び郵便投票の特例に関する臨時措置条例」及び「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う宗議会議員選挙の不在者投票の特例に関する臨時措置条例」は、廃止しました。

以上、教区改編による広域教区への対応及び選挙人の利便性の向上を図るとともに、選挙事務がこれまで以上に円滑且つ遺漏なく執行できるよう種々の改正を行いました。改正された条例をはじめ、投票に関する手続き等については、宗派公式ウェブサイトにも掲載していますので、ご参照ください。

宗派公式ウェブサイト「宗会議員選挙」



以 上

本廟部・参拝接待所

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
TEL.075-371-9210 (本廟部・参拝接待所) FAX.075-371-9204

2025年「御正忌報恩講」参拝のご案内

本年も真宗本廟において、11月21日の「御正忌報恩講讃仰法要（音楽法要）」に始まり、21日初逮夜から28日結願日中まで「御正忌報恩講」が厳修されます。

真宗門徒にとって最も大切な仏事である報恩講に、有縁の皆様をお誘い合わせの上、ぜひご参拝くださいますようご案内申し上げます。

**【申込期間】 2025年7月2日(水) 午前9時～10月31日(金) 午後5時**

※受付は各日午前9時から午後5時までです。

※お齋・お弁当(次頁参照)を申し込む場合、食数に限りがありますのでお早めにご連絡ください。定員になり次第締め切ります。

【申込方法】 下記のいずれかの方法で本廟部参拝接待所へ直接お申し込みください。

【TEL】 申込要項の内容をお伝えください。

【FAX】 宗派ウェブサイトより申込書をダウンロードしてご利用ください。

【WEB】 宗派ウェブサイトの特設フォームでお申し込みください。

申込書及びお申し込みフォームはこちら➡



※参拝のお申し込みをいただきました団体または個人には、報恩講参拝の記念品をご用意いたしますので、公共交通機関でお越しの方や少人数の方、お一人からでもぜひお申し込みください。

※バス・乗用車の駐車をご希望される場合は必ずお申し込みが必要となります。

【参拝申込要項】**1. 申し込みに際して****(1) 申し込み時にお知らせいただく必要な事項**

- ①参拝日 ②参拝される法要(〔例〕日中) ③到着時刻・出発時刻 ④団体・個人名称
⑤引率責任者氏名・連絡先電話番号 ⑥参拝人数 ⑦お齋申込の有無 ⑧お弁当申込の有無
⑨帰散式受式の有無 ⑩渉成園参観の有無 ⑪交通手段(バス・乗用車台数)
⑫大谷祖廟参拝の有無

(2) 申し込み後に、到着・出発時刻、参拝人数、バス・乗用車駐車等に変更が生じた場合は、必ず本廟部参拝接待所にご連絡ください。

(3) 11月中旬を目途に、引率責任者へ案内状・参拝確認書・駐車ステッカー等を送付いたします。
※申し込み期間後に変更された内容については参拝確認書に反映されませんので、ご承知おきください。

2. バス・乗用車の駐車について

- (1) 団体・個人参拝申し込みをされたバス・乗用車のみ、指定場所に駐車できます。駐車を希望する場合は必ず申し込みをしてください。また、申し込まれた団体・個人には駐車ステッカーを送付します。
- (2) 駐車ステッカーは、表示内容が確認できるよう、バスの場合は車両の前面（フロントガラス）及び側面（ガラス面）に、乗用車の場合はダッシュボードに必ず貼付ください。ステッカーの掲示がない場合は駐車できません。
- (3) 駐車場では係員が誘導・整理を行います。乗降場所については、係員の指示に従ってください。

3. 報恩講のお斎について

報恩講の「お斎」は、全国各所より御同朋が食材を持ち寄り、宗祖のご遺徳を偲びつつ、厳粛にいただく御仏事として永く執り行われています。

本年も、お申し込みいただいた皆様に、一膳のお斎から浄土真宗の歴史を味わっていただくことを願いとし開催いたします。

- (1) 期 間：11月21日(金)～28日(金)

- (2) 時 間

	21日(金)	22日(土)	23日(日)	24日(月)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)
1 回目	12:10	12:10	11:40	11:40	12:10	11:40	11:40	12:50
2 回目			12:40	12:40		12:40	12:40	

※帰敬式を受式される方は2回目にお申し込みください。

- (3) 定 員：各回120名（全席椅子席）

- (4) 会 場：大寝殿または表小書院

- (5) 内 容：報恩講「お斎」〔お斎・けんちん汁・お手土産など〕

- (6) 冥 加 金：お一人 4,500円

- (7) 特記事項：定員になり次第締め切ります。会場はお選びいただけません。



お斎(イメージ)

空席がある場合に限り当日券をご用意いたします。

ご予約日の前日12時以降の人数変更及びキャンセルはできませんので、予めご了承ください。

4. 昼食弁当

報恩講期間中に参拝された方々への昼食として、お弁当（1食2,000円・お茶付）をご用意いたします。会場は「しんらん交流館」または「和敬堂」（最大70席・会場指定不可）です。ご希望の場合は、5名からお申し込みください。なお、受け入れ人数に限りがありますので、定員になり次第締め切ります。

- (1) 期 間 11月21日(金)～28日(金)

- (2) 時 間 11時～13時

- (3) 料 金 2,000円

- (4) 会 場 しんらん交流館すみれの間（20名）／和敬堂講義室（50名）

	21日(金)	22日(土)	23日(日)	24日(月)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)
しんらん交流館	○	○	○	—	—	—	—	—
和 敬 堂	○	○	○	○	○	○	○	○

※会場は、時間・人数を調整して振り分けますのでご指定いただけません。

※申込時に会場をお伝えしますが、都合により、その後に会場を変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。

5. 帰敬式について

- (1) 帰敬式は、21日の讃仰法要後、22日～27日の日中法要後、御影堂において執行されます。ただし、28日は執行されません。
- (2) 住職選定法名及び団体による受式については、「帰敬式受式者届」を受式日の1ヵ月前までに直接、本廟部参拝接待所へご提出ください。
- (3) 受式当日、本廟部参拝接待所で9時30分までに受付をお済ませください。
- (4) 帰敬式終了予定時刻は正午前後となります。

6. 注意事項

- (1) 各法要の開式時間にご留意ください。
- (2) 参拝時に体調を崩された場合は、お近くのスタッフにお声がけください。
- (3) 法要中の写真や動画の撮影はご遠慮ください。
- (4) 時間に余裕を持った計画を立てられるようお願いいたします。
- (5) ご参拝の際には、ご門徒に肩衣(畳肩衣・略肩衣)を着用いただくよう奨励ください。
- (6) 真宗本廟収骨・永代経・御影堂読経はお取り扱いがありません。
※参拝接待所(地下仏間)での読経はお取り扱いがあります。
- (7) 行事等で諸殿を使用しているため、諸殿案内はできません。
- (8) 法要途中での退席はなさらないようお願いします。
- (9) 渉成園にもぜひご参観ください。(11月の参観時間は9時～16時 ※15時30分受付終了)

【お問い合わせ】 本廟部参拝接待所

TEL: 075-371-9210 (9時～17時) FAX: 075-371-9204

E-mail: honbyo@higashihonganji.or.jp

真宗大谷派ウェブサイト <https://www.higashihonganji.or.jp/>



渉成園のご案内

四季折々に美しさを見せる渉成園ですが、特に報恩講の季節には楓、銀杏などが色づき、より一層その趣を高めています。

御正忌報恩講のご参拝とあわせて、渉成園にもぜひご参観ください。



渉成園について、詳しくはこちらをご覧ください→



渉成園Instagram→



月刊 どうぼう

同朋

仏教がみちびく、あらたな人生

まずは、お寺で1冊ご購入ください!

◇ご門徒へのプレゼント、法要・行事の記念品としてもご利用ください。

「同朋」は生活の視点から、
浄土真宗に親しむための月刊誌です



8月号特集 ニッポンがしたこと——なぜ戦争はダメなのか

〈インタビュー〉

「大東亜共栄圏」とは／安達宏昭 (東北大学教授)

「七三一部隊」とは／吉中丈志 (京都大学教授)

「慰安婦」問題とは／梁・永山聡子 (社会学者)

〈寄稿〉

映画『ビルマの堅琴』がおき忘れたもの

／永田喜嗣 (戦争映画研究者)

長崎人権平和資料館の理念／崎山 昇 (長崎人権平和資料館理事長)

母屋をつくりかえる／小田原のどか (彫刻家・評論家)

巻頭インタビュー アキラ・ザ・ハスラー (アーティスト)

魅力ある連載をご紹介します

新連載

僧侶
名倉 幹後生の一大事を心にかけて
ニューヨークから開教便り音文化研究者
柳沢英輔録音から立ち現れる
東本願寺の「音景」小説家
岩川ありさ

小説「一切の幸せ」

哲学者
谷川嘉浩哲学者と僧侶
「私」をめぐる往復書簡

お問い合わせ

◆FAX・電話・ハガキ・メール、またはホームページでお申し込みいただけます。

◆代金は、「同朋」と共に送付いたします振込用紙にて、お支払いください。

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る

東本願寺出版「同朋」係

TEL: 075-371-9189 FAX: 075-371-9211

メール: books@higashihonganji.or.jp

息できる風景

マンガ家
森泉岳土

生きづらいこの世界でも

ライター
竹田ダニエル

日々平熱のソウル

ミュージシャン
中田 亮

ぺころスのほどけてしゃがんで

マンガ家
岡野雄一

●毎月1日発行

●A4判 フルカラー60頁

●購読料 年間 4,400円 (税込・送料込)

1冊 440円 (税込・送料別)

2025年7月号から価格改定

宗務審議会

「大谷祖廟総合整備に関する委員会」答申

(2025年4月14日)

本誌7月号9頁に掲載のとおり、宗務審議会「大谷祖廟総合整備に関する委員会(尾畑英和会長)」から、宗務総長に答申書が提出されました。今後は、この答申書をふまえ、「大谷祖廟及び東大谷墓地に関する総合整備委員会」において総合整備事業に関する総計画(総予算)が策定される予定です。

Ⅰ はじめに

大谷祖廟では、建物の老朽化をはじめ、日々参拝に訪れる方の利便性の向上、東大谷墓地事務所との統合を視野に入れた効率的な受付・案内業務の見直し、また、御廟所内納骨所の補強改修、宗祖御遠忌記念事業において整備が及ばなかった建物の文化財的価値を踏まえた修理・保存などの課題があり、大谷祖廟並びに東大谷墓地の土地、建物の総合的な整備(以下、総合整備事業という。)の計画立案を目指し、2022年度から事前調査を開始した。

その結果、大谷祖廟庫裡に構造上の問題があることや雨水の排水不良、境内擁壁・急斜面地に危険な箇所があることなど、その他多岐にわたる課題が明らかになった。

2023年度からは、それらの調査の結果を踏まえ、総合整備事業の計画立案に向けて必要となる更なる調査が行われ、2023年12月4日に、

(1) 大谷祖廟境内及び建造物の総合整備計画について

(2) 納骨を縁とした開教事業の展開並びに宗派納骨施設の整備について

を諮問事項とした宗務審議会「大谷祖廟総合整備に関する委員会」が設置された。

以下に示す「大谷祖廟並びに東大谷墓地の総合整備事業に関する基本構想」は、委員会において12回にわたる協議を行い、総合整備事業の方向性について答申するものである。

このたびの総合整備事業は、親鸞聖人の御廟所として真宗門徒がこれまで敬仰護持してきた歴史を継承するとともに、納骨を大切なご縁として、次世代に親鸞聖人の教えを伝えていくために必要な事業である。宗門の総力を挙げて、僧侶と門徒がともに取り組まれる事業となることを願う。

Ⅱ 審議経過

第1回 2023年12月4日 会場…大谷祖廟

・大谷祖廟総合整備に係る準備調査報告

・大谷祖廟境内建物視察

・大谷祖廟の現況について

第2回 2024年2月9日 会場…大谷祖廟

・「大谷祖廟の歴史」安藤弥氏(同朋大学教授)

・大谷祖廟境内建物視察

第3回 2024年3月11日 会場…宗務所

・大谷本廟(西大谷)視察

・全体土地利用計画素案について

第4回 2024年5月7日 会場…大谷祖廟

・大谷祖廟境内建物視察（長楽寺、雙林寺、菊谷川及び国有地との境界確認）

・大谷祖廟総合整備事業について（中間報告）

・2024年度準備業務内容および予算案について

第5回 2024年6月20日 会場…しんらん交流館

・大谷祖廟総合整備事業準備積立金に関する特別措置条例について

・茶室の応急処置について

第6回 2024年9月19日 会場…しんらん交流館

・新たな納骨施設について

・建物配置・施設の使用用途について

第7回 2024年10月22日 会場…しんらん交流館

・建物配置・施設の使用用途について

・大谷祖廟総合整備計画のたたき台について

第8回 2024年12月9日 会場…しんらん交流館

・基本整備工事及び東大谷納骨堂（仮称）について

・財源確保案について

・大谷祖廟史の研究について

第9回 2025年1月27日 会場…大谷祖廟

・仏教に関する実態把握調査（全日本仏教会）について

・基本整備工事箇所及び納骨施設建設予定地の現地確認

・東大谷納骨堂（仮称）について

・答申案の目次について

第10回 2025年2月17日 会場…大谷祖廟

・宗派納骨施設について（東本願寺真宗会館・東本願寺沖繩別院）

・大谷祖廟総合整備工程案について

・大谷祖廟並びに東大谷墓地の総合整備事業に関する基本構想案について

第11回 2025年3月26日 会場…宗務所

・大谷祖廟並びに東大谷墓地の総合整備事業に関する基本構想案につ

いて

第12回 2025年4月14日 会場…宗務所

・答申案の最終確認、答申書の提出

Ⅲ 委員

会長 尾畑英和 岐阜高山教区第5組 正壽寺

会長代理 森孝司 東北教区山形第7組 無量寺

委員 金倉泰賢 北海道教区第11組 高德寺

委員 二階堂行壽 東京教区東京4組 専福寺

委員 安藤弥 岡崎教区第7組 淨専寺

委員 中山惠津子 岡崎教区第34組 西敬寺

委員 藤澤順子 京都教区山城第1組 東光寺

委員 亀田晃巖 京都教区山城第2組 唯明寺

委員 藤原勲 大阪教区第21組 西願寺

委員 護山信磨 九州教区福岡組 稱讚寺

Ⅳ 総合整備事業の基本方針

1 基本方針

（1）親鸞聖人の御廟所としての歴史と真宗門徒の納骨の伝統を継承

（2）納骨を縁に宗派の開教事業として展開

（3）大谷祖廟において新たな宗派財源を確保して増収を図る

の3項目を基本方針に掲げ、単なる整備工事に留まらず、大谷祖廟参拝者年間約65万人に加えて、これまで親鸞聖人の教えに触れることがなかった方に対して、納骨をご縁として、大谷祖廟が選ばれ、お参りして満足し、そして感動する場所となる、そのための儀式の執行、受付、案内が円滑に行える総合整備事業を実施する。

※この基本構想における「所属寺がない方」とは、過去に所属寺があり真宗門徒であった方、また将来門徒となり所属寺を持つとうとする方と定義する。

2 基本スケジュール

2025年度に「大谷祖廟並びに東大谷墓地の総合整備委員会(仮称)」を設置し、基本構想に基づいて、整備計画(基本設計、工事スケジュール、施行体制など)を策定し、2026年度から総合整備事業に関する総計画(総予算)として実行していくことが望ましい。

V 大谷祖廟の現在位置

1 大谷祖廟の歴史(概要)

大谷祖廟の歴史を振り返ると、親鸞聖人の入滅後、その遺骨が東山の西麓、鳥部野の北に位置する大谷の地に納められ、納骨を示す一基の石塔が建てられたことに始まる。その後、末娘覚信尼と遺弟たちにより、滅後10年にあたる1272(文永9)年に吉水の北の辺に改葬され、新たに廟堂が建立された。この廟堂に全国各地の門徒が親鸞聖人を慕い参拝し、全国各地に戻られて道場を開き、さらにそこで門徒の交わりを結ぶこととなった。これが大谷派教団の始まりである。

また、東西本願寺の分派後、新たに祖廟造営が求められることとなり、1670(寛文10)年に、かつて宗祖の遺骨を最初に納めた東山麓の鳥部野の北の大谷の地に近い、現在の大谷祖廟の地に親鸞聖人の御廟が造営され、納骨を通じて、聖人を追慕し、聖人の教えを相続していくための真宗門徒の納骨所となってきた歴史がある。

真宗門徒が納骨した記録が最初に確認できるのは、1723(享保8)年であり、江戸末期の1771(明和8)年の大谷祖廟絵図には「骨役所」という建物の記載がある。

以降、大谷祖廟は真宗門徒の納骨所として、親鸞聖人の御廟に遺骨の一部を分骨して合葬することを伝統としてきた。

2 現在の土地・建物の状況

(1) 土地の調査

境内擁壁について、特に総門南北擁壁、長楽寺側擁壁及び御廟所

内擁壁は、はらみ出しが生じており、空石積擁壁の安定性が低いため、将来的に豪雨や大規模地震で被害を受ける可能性が高いことが分かった。また、急斜面地について、一般に必要とされる安定性を満たしておらず、同様に豪雨や地震時において被害を受ける可能性が高いことが分かった。



御廟所内の擁壁



御廟所内の急斜面地

(2) 土地の所有権・使用権の整理

大谷祖廟西側に隣接する土地は3つに分類され、宗派所有の土地、雙林寺所有の土地(宗派が無期限の使用権を有する土地)、国有地(等価貸借によって使用する土地)がある。その他、大谷祖廟北側の長楽寺との境界、南側の菊谷川との境界など、境界確定の未定箇所が多く、土地の所有権、使用権を整理し、境界を確定していく必要があることが分かった。

(3) 建物の調査

築50年が経過した祖廟事務所、木造とRC造の両面の構造をもつ庫裡の構造耐震診断と使用方法の調査を実施した。いずれの建物も現行基準の耐震性能を満たしておらず、適切な耐震補強が必要であ



祖廟事務所の様子



本堂の様子

(4) 境内排水の調査

排水性能が不十分な雨水側溝や雨水枡が境内に多数存在しており、近年頻度を増すゲリラ豪雨時には水溜まりや、施設内浸水が発生している。長楽寺参道との境界部の雨水が適切に排水されず、北側公道に大量に流出することが確認された。

ることが確認された。また、祖廟事務所は手狭であることから、参拝者の動線が交錯し、休憩スペースを確保できない状況にあった。年末年始をはじめ、春秋彼岸、お盆に多くの方が参拝された際の祖廟事務所待合（休憩）スペース、本堂参拝スペースの手狭さは解消しなければならない。

また、宗祖御遠忌記念事業において整備が及ばなかった建物については、「真宗本廟造営物保存管理専門委員会（大谷祖廟部会）」が新たに設置され、あらためて現地視察が実施された。結果、北門は周辺の擁壁のはらみ出しの影響による変形、太鼓楼は、床下の換気不十分による柱の腐食、茶室は、周辺の排水不良の影響による変形が生じており、天井の雨漏りの跡も確認された。

3

社会状況

現代では、世帯の規模が極小化し、さらに特定の場所に定住せず移動される方が増加してきており、特定の寺院に所属する機会が失われつつある。

そのような中、葬儀を執り行わない「直葬」や「墓じまい」という言葉に表されるように、お墓や遺骨に対する意識までもが刻々と変化

(5) バリアフリーの調査

急傾斜地に階段が多数存在する大谷祖廟の参拝は、大変不便である。下参道入口から祖廟事務所までの高低差は約30メートルあり、車での参拝には、大谷祖廟南側通路の東大谷墓地前まで上り、一時停車で降車する状況にある。また、参拝者の中には、妊婦、乳幼児連れの方もおられる。祖廟事務所に隣接する旧事務所内に授乳室が設置されているものの、トイレも含めその機能は十分ではない。参拝者が不便なく参拝できるようバリアフリーの対策を講じることが必要不可欠である。



北門前の雨水



祖廟事務所前の水溜まり

してきている。

大谷祖廟への納骨についても形態は様々である。特に、門徒の社会生活が多様化している現代では「日頃、特定の寺院との関わりはないが、家は代々大谷派の門徒である」という意識の方も多く見受けられ、「お連れ合いや両親が祖廟に納められているため一緒のお墓に納骨をしたい」という方や、「郷里のお墓についてやむを得ない事情から墓じまいをして、改葬先として祖廟を選びたい」という方が増加してきている。また、首都圏をはじめとする都市部に住まわれている方の中にも、郷里のお墓について「継承者はいるが、負担をかけたくない」との思いから、「墓じまい」がなされ、新たな納骨施設を求められる傾向がある。

総合整備事業は、このような状況を十分認識したうえで、納骨を縁としてあらためて親鸞聖人の教えに触れる機会を創出していくことを念頭に置き進めていかなければならない。

4 大谷祖廟納骨の推移・状況

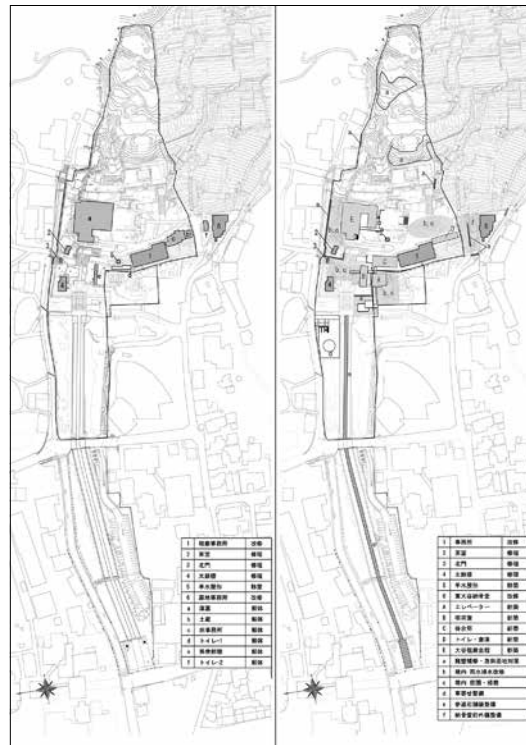
大谷祖廟納骨は、2023年度には、生前納骨の申込も含め、4種は4,574体、3種は2,825体、2種は1,255体、1種は872体、別座は441体、合計9,967体の納骨が行われ、納骨志530,460,000円の収入があった。

特に、2013年度と比較して、所属寺のない方の納骨が約5倍で、「墓じまい」に伴う一般の墓地や東大谷墓地からの改葬納骨は約90倍と、社会状況が後押しをしてか、大谷祖廟への納骨が選ばれている。

そのような状況を踏まえると、納骨された方が年に1度は参拝し、読経を申し込みたいと思える環境整備を行うとともに、所属寺のない方が、大谷祖廟への納骨を通して、「家は代々大谷派の門徒である」との記憶が消える前に、寺院との縁を取り持つことも大谷祖廟の果たすべき役割と言える。

Ⅵ 大谷祖廟境内及び建造物の総合整備計画について

委員会では、諮問事項(1)を受けて、大谷祖廟の現在位置を確認し、整備計画の視点を「安全対策」「老朽化対策」「混雑解消」「バリアフリー対応」の4項目に整理し、基本整備工事として、その概要をまとめた。



境内全体改修前後図

1 安全対策(災害対策)

(1) 危険擁壁の補強改修工事及び急斜面地の対策工事

緊急度の高い既存擁壁及び急斜面地を対象とした箇所の対策工事を行う。擁壁の対策工法として、可能な限り現状の外観を保全したうえで地震時の安定性を向上させることができる「IBアンカー工法」若しくは同等以上の別工法を採用する。また、急斜面地の対策工法として、表層崩壊寸前に有効であり、可能な限り樹木の伐採が不要で景観の保全性に優れ、維持管理の容易さ、施工性に優れる工法として「地山安定化工法」に分類される工法を採用する。

(2) 雨水排水工事

2 老朽化対策

大谷祖廟及び東大谷墓地敷地内の管路や会処櫓^{かいしょろう}において不具合が発生している箇所の工事を行う。具体的な対策は、擁壁補強や建物の老朽化対策とあわせて検討する。

(3) 建物の耐震補強

祖廟事務所は、現行基準の耐震性能を満たす耐震壁の追加補強を検討する。

木造とRC造の両面の構造をもつ庫裡については、地震時の安定性が低く、また、使用の利便性の向上を図るため、建物を解体し、新たな建物を建設する。

(1) 納骨所の補強

御廟所内にある納骨所は、現在のところ亀裂や傾きもなく安定した状態にはあるが、急斜面地の安全対策とあわせて、補強工事を行う。

(2) 茶室【1932（昭和7）年建立】

茶室周辺は、排水に不具合がある影響で、茶室下の擁壁に水が回っている。擁壁の補強工事、雨水排水工事とあわせて、茶室の改修・保全をはかる。

なお、茶室から見る景観は大変良好なため、今後、参拝者の応接場所として活用していくことを付記する。

(3) 北門【1702（元禄15）年建立】

大谷祖廟境内上部からの雨水により、周辺の擁壁に水が回っているため、建物に変形が生じている。茶室と同様、擁壁の補強工事、雨水排水工事とあわせて、北門の改修・保全をはかる。

(4) 太鼓楼【1862（文久2）年建立】

茶室、北門と同様、擁壁の補強工事、雨水排水工事とあわせて改修・保全をはかる。特に、床下の換気不十分により柱の腐食がみられるため、その対策を講じる。

3 混雑解消

そもそも大谷祖廟の歴史的建物としては、茶室、北門、太鼓楼の他に、総門【1862（文久2）年】、本堂【1702（元禄15）年】、御廟唐門【1699（元禄12）年】がある。このたびの総合整備事業では、老朽化が激しく、また、その建物を支える擁壁やその周辺の排水に不具合がみられる場所にあつて、且つ危険度の高い建物を優先して改修するものである。その他の建物については、茶室、北門、太鼓楼を含め、「真宗本廟（東本願寺）飛地境内地建築群総合調査報告書」として纏められていることから、今後、重要文化財として指定された際には、保全の観点からも速やかに修理・保全すべきであることを付記する。

(1) 大谷祖廟事務所改修及び耐震補強工事

祖廟事務所（二階建て）の耐震補強を行い、改修する。事務所内にある茶所仏間を改修して、受付、事務、待合スペースを拡張し、大谷講（仏花・線香・蠟燭の販売）及び墓地事務所（墓地の承継・納骨・改葬などの手続き、檜の販売）を併設する。



祖廟事務所前常設テントの混雑状況

(2) 大谷祖廟会館（仮称）の建設工事

庫裡（二階建て）を解体し、「大谷祖廟会館（仮称）」として、新

たな建物を建設する。一階部分は、これまでどおり「賀慶殿」を設け、30人規模の仏前結婚式の会場、親族控室を設置する。また、法事会場としてご利用いただける仏間を設け、その仏間では、別座読経や墓地仏間読経を勤めることも可能にする。二階部分には、本堂の手狭さを解消するため、60人規模の読経所を設け、加えて応接用として広間数部屋及び式務員控室を設置する。また、バリアフリー対応として、二階の読経所及びその動線を土足仕様にし、読経所から直接、御廟所へ移動できる渡り廊下を設ける。御廟前での納骨読経後、本堂正面にて拝礼して、一連の儀式を終えるものとする。

(3) 新規建物の建設

A棟：総門正面向かって南側スペースにエレベーター棟として新たな建物を建設する。

B棟：総門を潜った南側の男衆部屋を解体し、喫茶室として新たな建物を建設する。

C棟：祖廟事務所北側のトイレを解体、手水屋形の移設を行い、待合所として新たな建物を建設する。また、祖廟事務所にある「お買い物広場(売店)」を併設する。

D棟：祖廟事務所南側の旧事務所及び土蔵を解体し、トイレとして新たな建物(二階建て)を建設する。また、土蔵に保管されている仏具、資料等を保管する倉庫を併設する。

なお、男衆部屋、土蔵の解体及び手水屋形の移設については、当該建物の歴史的価値を十分に調査したうえで行っていくことを付記する。

4 バリアフリー対応

(1) 車寄せ整備工事

総門正面向かって北側スペースに車寄せ(ロータリー)を設け、車で上参道北側公道を上り、車寄せにて参拝者の乗降を可能にする。



総門前の参拝者の様子

(2) エレベーター棟の設置

総門正面の階段をはじめ、境内階段の上り下りを解消するため、総門正面向かって南側スペースにエレベーター棟として新たな建物(A棟)を建設する。また、A棟からC棟への動線として、ブリッジを架け、境内階段の上り下りの解消を図る。

なお、エレベーター棟建設予定地は、個人の所有する墓地のため、所有者と協議、交渉を行い、移設場所を決定し、墓の移設を行う。

(3) 本堂拝所の設置

本堂階段の上り下りや靴の脱ぎ履きを解消するため、本堂入口階段部分に緩やかな階段を設け、拝所スペースを設置する。また、本堂内は椅子席として、参拝者の利便性の向上を図る。

5 参道及び植栽整備工事

(1) 参道整備工事

大谷祖廟参道は、御正忌報恩講の際の大型バスの駐車や駐車場待ちの車の待機場所として使用され、石畳の痛みが激しいことから舗装整備を行う。また、バリアフリー対応として、参道の一部を歩き

やすいように平滑化するとともに、手摺を設置する。

(2) 植栽整備工事

大谷祖廟境内の景観を損なわず、本堂、茶室、太鼓楼及びエレベーター棟周辺の植栽整備を行う。

Ⅶ 納骨を縁とした開教事業の展開並びに宗派納骨施設の整備について

1 東大谷納骨堂（仮称）の建設

(1) 設置の理由

世帯規模の極小化、世帯が自由に移動し、一人世帯や二人世帯が多数を占める社会環境において、急速に「墓じまい」やお墓の無縁化が進む一方で、新規でお墓等の施設を求めようとする方は、「費用が安価」「住居から近い」「交通の便が良い」「施設が新しくきれい」「継承者を不要とする施設を希望する」傾向にあり、この傾向は今後も続いていくことが予想される。

そのことが影響してか、近年、大谷祖廟では、所属寺がない方が先祖の納骨に倣って大谷祖廟へ「全骨」で納骨される方が増加してきている。また、親鸞聖人の御廟所南側にある東大谷墓地には、広大な斜面地に約8,500基の墓地があるが、おおよそ年間1000基程度の「墓じまい」や無縁化も進んでいる状況にある。

そのような動向をふまえて、合葬墓としての親鸞聖人の御廟と東大谷墓地のお墓に加えて、合葬に至るまでの一定期間お預かりする新たな納骨施設として「東大谷納骨堂（仮称）」を建設し、納骨を縁とした開教事業となるとともに、新たな宗派財源として寄与されることを願う。

(2) 施設建設の場所と建物の概要

東大谷納骨堂は、墓地事務所の場所に建設する。墓地事務所の地下の構造補強を行い、上屋建物の内外装改修工事を行う。また、東大谷納骨堂周辺の植栽整備工事を行う。



墓地事務所外観



(3) 納骨の形式

上屋建物には、納骨壇形式として、納骨壇（一段式から多段式）を設置する。また、地下には、遺骨を置く棚を設置し、間接参拝（お骨は別室に納め、お骨の前で参拝しない方法）とする個別合葬形式（他人のお骨と混ざらないよう入れ物や袋で分ける形状）にする。

(4) 納骨壇及び棚の設置数と収入見込

形式	形式		冥加金		計
	納骨壇	一段式(90基)	二段式(72基)	五段式(260基)	個別合葬(地下)
		1,500,000	3,000,000	600,000	18,000箱
合計		270,000,000	108,000,000	156,000,000	5,934,000,000

なお、納骨壇の形式や冥加金は、他の類似施設を参考に算出した。形式や冥加金の設定は、今後の検討を要する。また、地下の納骨数は、

遺骨を粉骨にし、ブック型の専用骨箱にて算出した。納骨方法についても、骨壺で納めるのか、また、遺骨を粉骨にして納めるのか、大谷祖廟への納骨方法とあわせて検討する。

2 所属寺のない方との接点

大谷祖廟は、今後も所属寺のない方に対して、納骨を大切なご縁として大谷祖廟が選ばれるように、儀式の執行、受付、案内を丁寧に行う。また、その方に対して、法要・行事やあらゆる機会を提案し、納骨後においても大谷祖廟へ参拝されるよう奨励する。

そのためには、大谷祖廟へ納骨された方の情報や法要・行事を通して参拝された方の情報を整理・管理し、緩やかな関係(つながり)を確保できるように大谷祖廟関係者管理システム(CRMシステム)の構築を行う。

※CRMは、「Customer Relationship Management」の略で、日本語では「顧客関係管理」と言う。

3 仏事サポートセンター(仮称)の設置

大谷祖廟には、毎日多くの問い合わせがある。その内容は、納骨の予約に加えて「墓じまい」「葬儀・仏事」「終活」の相談など多岐にわたる。これら全般にわたって相談できる窓口を設置する。

ひいては、所属寺のない方に対して、お寺との縁がなくなっていくよう、寺院や別院との連携を図り、葬儀、その後の仏事を請け負っていくような体制づくりが必要である。

4 宗派の納骨施設の整備について

真宗会館(首都圏教化推進本部)及び沖縄別院(沖縄開教本部)では、それぞれの地域のお墓のニーズ調査も行われ、現在、納骨施設の設置の検討が進められている。総合整備事業の基本方針に掲げた「これまで親鸞聖人の教えに出遇うことがなかった方に対して、納骨を大

切なき縁として、真宗の教えに触れていただく機会を創出」していくためにも、早急にその施設を設置する。

(特記事項)

宗派が行う納骨施設としては、真宗本廟収骨と大谷祖廟納骨の制度がある。今後、様々な課題を整理し、真宗本廟収骨と大谷祖廟納骨との関係性・整合性を検討していく必要があると思われる。

Ⅷ 大谷祖廟の歴史的検証

大谷祖廟の歴史的検証については、細川行信著『大谷祖廟史』が唯一のものと言ってもよい。本願寺の寺院史や歴代の事績を広く詳述する貴重な研究成果である。

今後、現代社会における大谷祖廟の社会的役割を発信していくためにも、更なる大谷祖廟の歴史的検証を行い、既に実施されている祖廟所蔵史料調査や建物の調査報告書等の成果をふまえ、『新・大谷祖廟史(仮称)』を発行する。

Ⅸ 総合整備事業にかかる整備工事期間及び総工費について

1 整備工事期間

2026年度からの総合整備事業に関する総計画(総予算)に基づき、実施設計、工事発注を行い、2028年1月から工事が開始できるように進めていく。工事期間は3年を予定する。

2025年7月 基本設計・準備調査開始

2026年2月 工事スケジュール・施行体制

2026年7月 総計画(総予算・2026年度～2030年度)

による整備事業開始・実施設計

2027年7月 工事発注・入札・契約

2028年1月 工事開始

2030年12月 工事完了

2 整備工事にかかる総工費

総工費の試算は、あくまで工事の全体像の把握のため、概算の単価にて算出した。大谷祖廟の土地は、歴史的風土保全地区で、様々な施工上の制約があり、且つ急傾斜地であり狭小地のため、建設資材や重機の搬入が非常に困難な場所にある。加えて、大谷祖廟の行事・納骨業務を継続する中での工事施工となるため、工事費用が割高となる可能性が高いと予想される。今後、整備計画に基づく基本設計をしていく中で、整備工事の優先順位を定め、施工方法を十分に精査し、可能な限り経費を抑えた計画をしていくことを付記する。

4,215,200,000円(本工事費+設計監理費+消費税)	
(安全対策) 400,000,000円	
危険擁壁補強改修及び急斜面地の対策工事(200m×100万円)	200,000,000
雨水排水工事	200,000,000
(老朽化対策) 173,000,000円	
納骨所補強(18坪×100万円)	18,000,000
茶室伝統木造改修(8坪×150万円)	12,000,000
北門伝統木造改修	45,000,000
太鼓楼伝統木造改修	98,000,000
(混雑解消) 2,061,000,000円	
大谷祖廟事務所改修及び耐震補強工事	
(134坪×100万円+耐震3,300万円)	167,000,000
大谷祖廟会館(439坪×300万円+解体)	1,347,000,000
B棟【喫茶室】(33坪×300万円)	100,000,000
C棟【待合所】	
(42坪×300万円+杭5,400万円+手水屋形移設2,000万円)	200,000,000

D棟【トイレ・倉庫】(74坪×300万円) 223,000,000

旧事務所・土蔵解体 24,000,000

(バリアフリー対応) 393,000,000円

車寄せロータリー設置 50,000,000

A棟【エレベーター】

(41坪×300万円+E V 2億円+ブリッジ2,000万円)

(納骨施設の設置) 343,000,000

東大谷墓地事務所改修工事 100,000,000

東大谷墓地事務所外構・周辺整備 130,000,000

納骨壇及び納骨棚 75,000,000

(参道・植栽整備) 250,000,000円

庭園植栽整備+本堂拝所設置+墓移設等 150,000,000

参道整備 100,000,000

(その他) 633,200,000円

予備費3%+設監費 250,000,000

消費税10% 383,200,000

3 整備工事期間中の対応

工事期間中も、原則、納骨、読経及び法要行事は執り行う。ただし、工事期間中、場所によっては変更若しくは一時的に中止する場合があります。

(1) 本堂に直接つながる大谷祖廟会館の工事期間中は、本堂を閉鎖し、茶所仏間を拡張し仮本堂として、納骨、読経を執り行う。また、諸法要(晨朝、御歴代連夜・日中、永代経法要)も同様とする。

(2) 大谷祖廟会館の工事期間中は、大谷祖廟庫裡(賀慶殿、石庭の間、曲水の間)の貸し出し、仏前結婚式の受け入れを一時中止する。

(3) 大谷祖廟会館の工事期間中の式務員及び用務員控室は、祖廟事務所に隣接する旧事務所内に控室を設ける。



宗祖御遠忌時の仮本堂（茶所仏間）



宗祖御遠忌時の本堂閉鎖

X 総合整備事業にかかる財源確保

このたびの総合整備事業における総工費は、総額約42億円の費用がかかる。そのための資金調達の方途は、

- (1) 全寺院及び納骨者への懇志勧募
 - (2) 新たな納骨施設の申込者からの冥加金収入
 - (3) 全寺院に対する大谷祖廟御修復賦課金
 - (4) 宗派保管金（墓地整備準備金、真宗本廟諸施設営繕積立金、宗宝宗史蹟保存管理資金）
 - (5) 宗派積立金（平衡資金）
- を基本として財源を調達する。

（特記事項）

（1）納骨施設の冥加金収入

新たな納骨施設は、満基により約60億円の収入を見込む納骨施設として計画した。冥加金や年間管理費、使用期間の設定を行い、よ

り多くの方に新たな納骨施設が選ばれるよう積極的な広報展開を実施する。

（2）大谷祖廟御修復賦課金

このたびの総合整備事業は、親鸞聖人の御廟所として真宗門徒がこれまで敬仰護持してきた歴史を継承するとともに、納骨を大切なお縁として、次世代に親鸞聖人の教えを伝えていくことを願いとし、総計画（総予算）期間において、全寺院に御修復賦課金として依頼する。

（3）礼金改正

今後、更なる財源を確保していくため、既存の大谷祖廟納骨志及び読経志の改訂について、検討する。

（4）寺院の取次

山形大谷講を例として、組や寺院、別院で遺骨を取りまとめられ納骨団体参拝として納骨されるケース、難波別院を例として3年間の期限を設けて個別でお預かりされていた遺骨を、期間満了後に大谷祖廟へ納骨されるケースもある。今後、大谷祖廟への納骨が選ばれるよう、寺院への周知徹底を図るとともに、納骨を奨励する様々な方法の検討を要する。具体的方法として、「取次寺院への還付」等の制度の提案がある一方、「大谷祖廟と寺院との距離格差があり、近い地域の寺院の方が恩恵を受けやすい制度にもなりかねない」「取次寺院に還元する場合、職員の事務が増える」とのことから、その制度は設けるべきではないとの意見があったことを付記する。

真宗本廟奉仕・縁・諸研修報告

〔研修部〕

▼真宗本廟奉仕(25・6月)▲

教区	組	団体名	引率者名	人数	期間
北海道		函館別院同朋の会 推進講座後期教習	経森崇洋	5	6／17～19
東北	山形 第1・第2	同朋の会推進講座後期教習	張崎正裕	19	6／13～15
東北	山形第10	同朋の会推進講座後期教習	石原道明	22	6／13～15
東北	山形第10	推進員上山奉仕団	佐藤敬昭	5	6／13～15
東北	門徒 会	門徒上山奉仕団	大友一雄	3	6／13～15
東北	仙台	東漸寺本廟奉仕団	那波亜希子	8	6／9～10
東京	仙台	善仁寺同朋会	青山満	6	6／9～10
東京	東京3	同朋の会推進講座	種昂宣弘	20	6／13～14
富山	第11	同朋の会推進講座	西道了昌	17	6／9～11
金沢	第9金沢	同朋の会推進講座	中野良成	12	6／13～14
小松大聖寺	第1	東組・中組真宗門徒講座	岩崎正親	6	6／6～8
岐阜高山	朝日高根	門徒会奉仕団	名畑周	24	6／13～14
岐阜高山	第15	真宗入門講座	林文照	6	6／6～8
大垣	第12	上石津同朋・真宗本廟奉仕団	桑原和貴	6	6／13～14
大垣	第12	門徒会奉仕団	樋口祐慈	9	6／13～14
大垣	第15	組門徒会奉仕団	服部行信	26	6／20～22
岡崎	第15	本龍寺第32代同朋婦人会奉仕団	伊藤誓英	23	6／20～22
岡崎	第31	三カ寺合同清掃奉仕団	藤波淳	29	6／20～22
岡崎	第23	推進員養成講座後期教習	新庄了澄	16	6／20～22
名古屋	桑名	第12次特伝真宗本廟研修奉仕団	藤波淳	29	6／20～22
三重	桑名	2部12次特伝真宗本廟研修奉仕団	藤波淳	29	6／20～22
京都	長浜第16	後期教習奉仕団	藤波淳	29	6／20～22
京都	近江第6	推進員後期教習	藤波淳	29	6／20～22
京都	若狹第2	推進員養成講座後期教習奉仕団	山名彰心	7	6／17～18
京都	出雲	西福寺	多賀久	7	6／17～18
京都	石東	真宗門徒の集い奉仕団	岡本大志	10	6／20～22
大阪	第8	大阪教区内五別院 同朋の会推進講座	上山称信	24	6／6～8
大阪	第8	同朋の会推進講座	中尾哲	19	6／20～22

四国	東予	坊守会	三島純子	6／26～27
四国	奥豊後	後期教習	真城克朗	6／11～12
九州	福岡	同朋の会推進講座	直木健	6／9～10
九州	長崎	明専寺奉仕団	松尾眞一朗	6／9～10
九州	鹿兒島	女性門徒の会	正木希	6／17～18
九州	同朋の会推進講座後期教習	徳山広昭	24	6／19
声 明 作 法 お 稽 古 奉 仕 団	研究部	清史彦	16	6／26～27
真宗大谷派ビハールネットワーク奉仕団	研究部	清史彦	8	6／13～15
計36団体	522名			

▼縁(25・6月)▲

計4期間 6団体 28名

▼諸研修(25・6月)▲

研修・会議名	担当部	人数	期間
真宗本廟子ども奉仕団スタッフ事前研修会②	研修部	9	6／4～5
大谷大学「教化学演習Ⅱ」一泊研修会第2班	教育部	20	6／7～8
同朋会館嘱託補導奉仕研修⑦	研修部	10	6／9～11
教師修練スタッフ事前研修会	研修部	33	6／17～18
第35回同朋ジュニア大会スタッフ事前研修会	研修部	29	6／17～19
住職修習	研修部	73	6／26～28
計6団体			
174名			

ハンセン病はいま

330

解放運動推進本部

ハンセン病療養所の長島愛生園には、浄土真宗の宗教施設である「真宗会館」があります。ここでは、入所者の同朋の会である「真宗同朋会」の方々によって、年中行事や法要が勤まってきました。会館の内陣には厨子が設けられていますが、この厨子をめぐって、一人の入所者の姿が垣間見えました。今月号では、真宗会館を荘厳する仏具が揃うまでの経緯や、厨子の製作にまつわるお話をとおして、愛生園で交流を重ねてこられた岡田寛樹さんから、語り繋いでいくことの大切さをご執筆いただきました。

長島愛生園 真宗会館の厨子

三重教区立勝寺住職 岡田 寛樹

二〇二四年十月、岡山県瀬戸内市にある国立療養所長島愛生園を訪れた時のことである。そこで生活をされている方にいつも園内を案内していただくのだが、その中で、お念仏を大切にされてきた人々が集う場所である「真宗会館」について、初めて聞いた話があった。私はもっと詳しく知りたいと思い、同年十二月に再び愛生園を訪ね、ここで生活をされ、会館の御堂をお守りされている方から、この場所の歴史をいくつかの資料とともに聞かせていただいた。

会館の玄関を入り扉を開けると、畳敷の空

間がある。その奥には内陣があり、金色の木像のご本尊が安置され、右側に親鸞聖人の絵像、左側には蓮如上人の絵像がかけられている。中央に宮殿、左右に厨子が設けられており、須弥壇をはじめ、それぞれの下部は黒塗りされており、金色の装飾が施されて、花の柄も描かれている。

厨子は今も金色に輝いているが、一九九六(平成八)年に修復されるまでは、すべて白木だった。資料を見せていただくと、一九五八(昭和三十三年)十一月五日の落慶法要時の写真に厨子はなく、ご本尊が安置され、天井

からの璽路一對と花が供えられていて、左右の絵像はまだない。説明をいただいた方からのお話では、その後、宮殿を求めるために、同朋の会の方々を中心に園内で資金が募られ、東本願寺に依頼をし、一九六一(昭和三十六)年五月に宮殿が届いたと言われていた。資料には、同年十月六日に落慶法要が営まれている写真があり、宮殿は白木である。「お念仏を抛り所とされる方々が集われる際に、それぞれの宗派に沿うように、もしくは特定の宗派にならないように、白木にされていたんだよ」とのことであった。その後の資料を見ると、一九六三(昭和三十八)年八月八日の厨子完成落慶法要の際に、左右の厨子が設けられていて、一九六七(昭和四十二年)二月二十四日の仏間の清掃奉仕作業の写真には、親鸞聖人と蓮如上人の絵像とともに、それぞれの厨子が写っていた。

実は、この会館のご本尊と宮殿、またある方から寄進された前卓以外の仏具は、職人であった入所者が、たつたひとりで拵えられたという。今もその職人のお名前は、下須板の裏に「昭和三十九年 春彼岸日中 ○○○○作」と残っている。しかも、その下須板には、のちに板木が反らないための細工が施されてお



真宗会館の内陣

この板を触っているのにな。岡田さん、いい時に来たね」と笑顔で話された。

また厨子の完成から年月が経って、一九九六(平成八)年に厨子の一部が崩れ始めたことで修復をされた時に、当時のその職人や会館の建設に関わった人たちが以外は知ることのできない事実がわかったことがあったという。修復は岡山県内の仏壇店に依頼し、京都で行われた。そして、修復後に京都からお店に連絡があり、なんと厨子には、釘が一本も使われていなかったということだったのである。「多分だけど、この療養所での日々が始まるまでは、その方は職人としてどこかで活躍された、あるいはその腕を持って何かしらの活躍をされた方であると思うんだけどね」と言われていた。療養所での生活が始まり、自らの心や体、病を伴いながら、厨子などをひと

り、非常に丁寧な作りだった。「今回、打敷を片付けて何気なく板の裏を見たら、このように書いてあったんだわ。私も初めて見た。それまで何度も

りで造られたこの職人は、国の隔離政策がなければ、療養所ではなく、ご自身の工房や勤務先の工房などで、こういったものを造っていたのかもしれない。

さらに話は続く。「この会館を建設する際には、真宗の会・門徒だけでなく入所者の動ける人たちも携わってくれた。そして、厨子を作るための必要な木材を求めに姫路まで出かけていたんだ。そうした時間を経て今日の会館はあるんだよ」と。療養所は差別によって隔離されていた場所であり、市井の大工や職人が訪れるところではなかった。材木を運ぶためのトラックを準備し、そのためのレー

だろう」。私は言葉が見つからなかった。今の時代、そして私自身にそのような熱い思い、あるいは願ひといったエネルギーはあるか？と尋ねられているように感じたからだ。別れ際に、「私のことは書かなくていい。ただ、ここでのことは書いてほしい。いずれ誰もいなくなる。忘れ去られてしまうことがないように残してほしい」と伝えられた。療養所で人生を送ることを余儀なくされた中でも、そこには人が生きた物語がある。たくさんのお話を聞かせていただき、私は聞いた者の責任として、あらためて身の引き締まる思いがした。

【お知らせ】

ハンセン病問題自主交流会 in 京都

「ハンセン病」発足の願ひや、ハンセン病問題の現状と課題、取り組みの今後の展開を皆で確かめ、話し合います。

期日 2025年8月29日(金)

時間 13時30分

対談 徳田靖之氏(弁護士)

会場 ×玉光順正氏(山陽教区光明寺)

主催 しんらん交流館2階大谷ホール

ハンセン病問題自主交流会

in 京都実行委員会

お問い合わせ

岐阜高山教区蓮乗寺 細川宗徳
TEL 0577-3213827

青少幼年センターニュース

青少幼年センター

ホームページ <https://jodo-shinsu.info/oyc/>

YouTube 青少幼年センターチャンネル



「第59回仏教音楽研修会」開催

仏教音楽研修会は、仏教音楽を機縁として宗祖親鸞聖人の教えに学び、合唱を通して御同朋・御同行の交わりを深め、仏教讃歌の普及発展を目指し行われています。

このたびの研修会は、東京教区における「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」初日の音楽法要と併せて開催しました。

参加者は東京教区混声合唱団「Tokyoサンガ9」の団員と、全国から申し込まれた43名。指揮・合唱指導は黒田彰氏(武蔵野音楽大学非常勤講師)、ピアノは花園裕美氏(東京教区東京1組圓照寺坊守)、真宗の学習の講師は酒井義一氏(東京教区東京5組存明寺住職)が担当しました。研修会参加者と、音楽法要参拝者の声をお届けします。

◆第59回仏教音楽研修会―東京教区 慶讃音楽法要にご縁をいただいて

今回の仏教音楽研修会は、四月十四日から五日間にわたって厳修される東京教区慶讃法要の、初日に勤まる音楽法要のために開催されました。

東京教区慶讃法要は各日にテーマが設けられ、講堂形式の真宗会館ならではの、僧俗や性別などあらゆる差異を超えて御同朋と共に勤められま

した。十四日のテーマは「出遇いの慶び」。教え・人に出遇ったことの感動を振り返り、二〇一一年の宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要を機縁に制作された、新しい形の音楽法要で厳修されました。この法要曲では伽陀や三帰依文、回向などの歌詞が現代語訳され、和讃とともに演奏されます。新実徳英先生作曲の美しいメロディによる次第は、本山のみならず、別院や寺院教会においてもお勤めできるよう作成されています。



音楽法要(4月14日)

このたびの音楽法要は大谷裕新門の調声により、真宗大谷派合唱連盟の協力を得て全国からご参集いただいた合唱者の皆さんとTokyoサンガ9の団員、東京教区准堂衆会の皆さん、そして参拝された僧侶・門徒の皆さんと共に、同朋唱和を願いとして勤められました。

十三日の習礼では、声楽家でもある黒田先生より「姿勢・呼吸・表情・頭声・調和」等、多岐にわたるご指導をいただき、練習を重ねることにだんだんと四十三名の参加者がひとつとなり、合唱団としてのまとまりが生まれてきました。

酒井先生の真宗の学習では、場を開いて教えに出遇うことの大切さを、様々な仏教讃歌の独唱

(Tokyo)サンガ9・朝倉知子さん)を交えながらお話しいただきました。

夜にはホテルカデンツァ東京(東京都練馬区)において、大谷裕新門にもご臨席いただき交流会を行いました。黒田先生の熱唱や景品付きじゃんけん大会などで参加者同士の親睦を深め、会の終わりにには慶讃テーマソングメドレーと回向曲を全員で合唱し、翌日の法要に向けて気持ちが一気に重なっていました。

十四日の音楽法要では重ねた習礼の成果を存分に発揮し、約三百名の参拝者と共に「出遇いの慶び」を表現しました。混声合唱の迫力と美しいハーモニーに、准堂衆会の重厚さが加わり、参拝された皆さんの様々な年代の声が重なり合う荘厳な雰囲気の中、親鸞聖人の御誕生をお祝いする仏教讃歌が講堂の外まで響き渡りました。



酒井氏による「真宗の学習」

初めて音楽法要にお参りしたという声も多く聞かれ、これを機縁に広く音楽法要が周知されればと思います。あらためて南無阿彌陀仏の声が響き渡る稀有なご縁をいただいたことに感謝申し上げます。

上げます。

(Tokyo)サンガ9会長・平松敬子)

◆第59回仏教音楽研修会に参加して

二〇二〇年、金沢で開催予定だった仏教音楽研修会は新型コロナウイルスの影響により中止され、



朝倉氏による独唱を交え学びを深める

今回は約七年ぶりの開催となりました。私は幸いにも九州、沖縄、岡崎、金沢など何回かこの研修会に参加させていただき、その都度深い感銘を受けております。今回の研修会は東京真宗会館にて行われ、翌日の東京教区慶讃法要の初日を音楽法要でお勤めするという

素晴らしいご縁に参加させていただけることになりました。

真宗の学習の講師、酒井義一先生の御法話では、今回の法要和讃、

清風宝樹をふくときは ひとつの音声いだし
つつ 宮商和して自然なり 清浄勲を礼すべし
(浄土和讃)

をわかり易く、中国の五音階の二つ、宮はファ、商はソの不協和音が不思議に和する、そして自然

であるという合唱の素晴らしいさを通して、仏法をお話ししていただきました。仏教讃歌は仏法を伝える大きな力です。仏法ひろまれ、世の中安穩なれ。私は正しい、すべての争いの根はここにある。酒井先生の御法話の中の言葉です。

仏法とは先生との出逢い、言葉との出逢いであること、そして、聞き続けることの大切さを、今一度気付かせていただきました。

音楽法要そして仏教讃歌がいよいよ世界に広まり、世の中が平和であります様に願われることで。仏音研との出逢いを深く感謝いたします。

(金沢教区合唱団「蓮」・月輪満子)

◆参拝者の声◆

・音楽法要をよく知らずに参拝しましたが、はからずもとても良い場に遇えました。

・真宗会館の講堂での参拝では、合唱団の方々・出仕僧の方々との距離が近く一体感があってよかった。真宗本廟の御影堂の広い空間でお勤めされる音楽法要はどれだけ厳かなものだろうと、本山報恩講へも参拝したくなりました。

・十四日のテーマは「出遇いの慶び」でありましたが、この法要の場において法に出遇い、自己そして他者と出遇っていくことが願われていると、法話・表白・音楽法要から伝わってまいりました。

・冊子が配布されたおかげで、歌えずとも共にお勤めする感覚があったのが良かったです。

児童教化のページ

シリーズ 真宗大谷派における児童教化

—子どもたちとともに、今までもそしてこれからも—

ち か い

- 一、私たちは、仏の子どもになります。
- 一、私たちは、正しいおしえをききます。
- 一、私たちは、みんな仲よくいたします。

大谷派児童教化連盟

591

敗戦80年を小さい人たちと

迎えるにあたって

九州教区長崎組西心寺 近藤 章

敗戦八十年を迎える今年、小さい人たちと今一度学びなおさねばならないことが、世界中に起こっています。ロシアによる侵略で混迷を深めるウクライナ。イスラエルと、パレスチナ自治区ガザの人々へのジェノサイド。歴史的に根の深い問題があるが悲しい。

ドイツの児童文学者ケストナーの著書『どうぶつ会議』では、戦争を止められない人間に対して象の夫婦が「人間たちは、みんな、それを見ている。けれども、なかには、それから何も学ぼうとしないものが、たくさんいる」と語っています。

武宮聰雄先生は「なぜあれほどの戦争の罪が、自らの民族の責任、人間の罪として問われないのでありましょうか」と述べられています。戦争の罪が曖昧なままで、条件のところにのみを問題にしてそこに責任を見

いだそうとしていると。あの戦争を起こし、原爆を落としたのは人間の持つ、人間そのものの無明の罪であると押さえておられます。

私たちが小さい人の前に立つとき、「私は人間なのか」「人たり得てるのか」と問い続けているのでしょうか。私たちは戦争が好きなのでしょうか。勇ましく何かと闘う姿に喜びを感じているのでしょうか。本当に戦争のない世を願っているのでしょうか。強くなって自分の幸せを創りたいと日々願っているのではないのでしょうか。

「幸福を求めて、不幸の種ばかりばらまいているのが今の世だ」と宗正元先生は私たちに語りかけておられました。先生が学徒動員で飛行場で仕事をしていた時、米機が機銃で撃ちながら低空で飛んできます。「鬼畜米英」と教えられていたので、操縦している米兵の顔が鬼の顔に見えたそうです。「もし一人でもアメリカ人の友達がいたら、鬼畜米英と教えられても、きつと鬼の顔には見えなかっただろう」と話されました。友として出会うことが大切なのです。

縦している米兵の顔が鬼の顔に見えたそうです。「もし一人でもアメリカ人の友達がいたら、鬼畜米英と教えられても、きつと鬼の顔には見えなかっただろう」と話されました。友として出会うことが大切なのです。

二十世紀の戦争では、世界で二億人が亡くなられたと言われています。第二次世界大戦では、世界で五千万人以上が亡くなったとされ、日本人は三一〇万人が亡くなっておられます。沖縄では県民の四分の一の方々が亡くなっておられます。人類の願いを、多くの先生方が、「武器で人間の平和は、永遠にやってきません。怒みや憎しみを増幅させるだけです。人類最大の非行、蛮行が戦争です」と。しかしなぜ戦争が次から次へと起こってくるのか。それはひとえに罪の自覚が、私たち一人一人にないからなのでしょう。

武宮先生は、「戦争の罪が、本当の意味で、人間の根源的な罪として問われていない。戦争の罪が曖昧であり、徹底されていない。戦争の罪が深い懺悔になっていない。どこかで許しているものがある」と指摘さ

れています。罪の自覚がないため、政治が悪い、誰が悪いと畜生道を生きるしかできないのでしょうか。だから非核三原則も危うい状態になっています。「核」が私の問題にならない私のいのちをもっとも破壊する強烈なものなのに。「戦争」が私たちの日常の意識の中で遠い事柄になっています。「だって、八十年経っているから」と思うのかもしれない。私は今年一月、「香川県ビルマ会」(ビルマ戦線で戦われた旧日本軍・ご遺族の団体)の方々と「戦争犠牲者追弔法要」を勤めるご縁で、タイのチェンマイ・メーホンソーンを訪ねました。一、三〇〇メートル級の山々が連なる地をひたすら走り、ミャンマーとタイの国境を訪れました。そこで法要を勤める準備をしていた時、ビルマ会の八十四歳のご婦人が、国境監視所の迫り出した監視台の上で、対岸のミャンマーに向かって両手を大きく振りながら「おとうさん 会いに来たよー」と何度も何度も大声で呼び掛けておられました。彼女にとっては昨日今日のこのように思っておられるのではないのでしょうか。彼女はお父さんの顔を知りませ

ん。出征した後で生まれたと、身の上を話してくださいました。その地を離れるとき、彼女は持参してきたお米を対岸に向って撒いておられました。

かつて青年たちは悲惨な戦争、原子爆弾の悲劇に突き上げてくる命の乾きに、突き動かされ歩み続けて行かれました。本当の人間の暖かさを求めて真宗に尋ね、親鸞聖人に問い、先輩方に問い尋ねて歩きました。燃え上がるような情熱が、教団の本来性回復の推進力を生み出しました。その熱は命の乾きが求めさせたものでした。

私たちは、小さい人たちの関わりの中で、親鸞聖人が「一切の有情は、みなもって世々生々の父母兄弟なり」とおっしゃったように、御同朋を見いだし、御同朋を生み出していけるのが問われています。

世界中が混沌とし、濁世の中を生きている私たちに、親鸞聖人は「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」と叫んでおられます。仏法がひろまることで、人間のうえに平和で豊かな、御同朋・御同行の世界が開かれるの

だと呼び掛けておられるのです。

聖人は私たちに浄土から「国豊民安、兵戈無用」「非核非戦」と語りかけておられます。「国が豊かで人々が安らかな暮らしを営むには、武器も兵隊も必要です」と。「核に非ず、戦いに非ず」と。

今一度小さい人たちに問われ導かれながら、聖人の言葉に耳を澄ませてまいりたいと思います。



児童教化連盟指導者研修会で講義を行う執筆者の近藤氏
(2025年5月)

『いのち』

編集／大谷派児童教化連盟

私たちの「いのち」はどこから出発し、どこへ向かって生きているのでしょうか。仏さまは「いのち」について、単に生まれてから死ぬまでを教えているのではありません。私たちが生まれるには、それ以前の長い長い「いのち」の歴史があるのです。(本文より)

◆A5判／99頁 定価：600円

真宗大谷派青少年センター

〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地 真宗教化センター しんらん交流館
TEL:075-354-3440 FAX:075-371-6171 E-mail:oyc@higashihonganji.or.jp

いのち



真宗大谷派

今月のお寺

226

頼圓寺

(東北教区山形第四組)

山形県東村山郡中山町大字長崎226番地

住職 河南 亨

繋がるご縁を大切に。歩み出すお寺

中山町長崎は日本三大急流に数えられる最上川が流れ、江戸時代には北前船の船着き場として栄えた。県内から米や紅花を運び、京都からは衣料やひな人形等の上方文化を積み帰ってきた。そんな歴史ある町に頼圓寺はある。今回は住職の河南亨さんにお話を伺った。住職を継職してから四年になる亨さんは、



江戸時代中期を代表する四脚門である山門

いききたいとのこと。

自坊だけでなく、組内のお寺との合同奉仕団も行ってみたいという。また、若い世代にお寺に目を向けてもらいたいという思いもあり、地域の若手寺族にも協力してもらいながら、お寺で子ども会を始めたいとも考えている。

お寺づくりで心がけていることは、「敷居が高くなく、足を運びやすいお寺にしたい」と話された。ご自身が若い頃は、僧侶の集まりは堅苦しく敷居が高そうだと苦手意識があ



頼圓寺本堂

昔よりもお寺に人が集まりづらくなっているのではないかと感じているという。「お寺に興味がある人に声をかけ、最初は茶話会から始めてみて、隠居する頃には報恩講で本堂が満堂になることが夢」と語られ、お休みしていた真宗本廟奉仕やおみがき、境内清掃といった活動を再開し、ご門徒と自然に交流できる機会を少しずつ増やしている。特に奉仕団は、門徒さんと生活を共にして語り合う中で、普段見えなかったことに気づき、距離感も縮まったように感じたので、これからも続けて



頼圓寺奉仕団で記念撮影 (御影堂門楼上)

り、積極的には参加しなかった。意識が変わり始めたのは東日本大震災が起きた頃で、「何かできないかな？」という思いが湧き、教区仏教青年会をはじめとした様々な方と繋がり、活動を共に

するようになった。その中で「敷居が高そう」というイメージが変わり、居心地の良さを感じたとのこと。また訪問先のお寺の住職とご門徒の距離感や関わり方を目にした経験から、積極的に人と繋がり発信できるお寺を開いていきたいという思いになったという。

印象に残ったお話は、大晦日に友人と正月に供える餅を作っているということ。元々は忘年会のような形で始めたが、今では本堂で一緒に掌を合わせるようになり、仏事や家族のことを相談されるなど、いつの間にかお寺の座談会のような形になっていたと笑いながら教えてくれた。

「背伸びして、これもしよう、あれもしようでは続かなくなってしまう。やれることをコツコツ伝えていきたい」と楽しそうにお寺の将来を語る住職が印象的な取材となった。

(東北教区通信員・佐々木智悠)

弊店は真宗正式念珠を代々伝承製作の老舗

御法要儀
御披露式
結婚披露用
祝露用
——
内仏打敷、中啓
散華焼香
経本仏具
其他仏様用百貨

電話 〇七五—三七—二五五六番
FAX 〇七五—三五—三三六六番

〒600-1150 京都市下京区下珠数屋町通烏丸東入

製造 北川与三兵衛商店
販売

東本願寺前

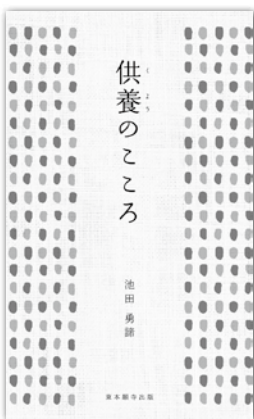
昔から良品安価で御信用いただいで居る

念珠かけた帰命の姿尊かり

仏事冊子
シリーズ

供養のこころ

池田勇諦 著



様々な視点をと
おして真宗における
「供養」の意味を
尋ね、`本当に亡
き人を大切にす
るとはどういうこ
と`を問う小冊子。

新書変形判／24頁
定価：88円(税込)

当派の寺院・教会からのご注文は2割引となります。



東本願寺出版
HIGASHI-HONGANJI PUBLISHING
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189 FAX.075-371-9211

詳しい書籍情報・試し読みは

東本願寺出版

検索

愛知県 長泉寺様

本堂屋根改修工事(チタンカナメ段付本瓦葺き)



想いを匠技でかたちにする

カナメの社寺建築

株式会社 **カナメ**

社寺新築・改修工事
チタン屋根 / 地震台風対策
太陽光発電など

本 社

栃木県宇都宮市平出工業団地38-52
TEL.028-663-6300

名古屋支店

TEL.0586-71-2882

岡山支店

TEL.086-245-2541



ものづくり日本大賞受賞
(経済産業大臣賞)
「チタン カナメ段付本瓦葺き」



GOOD DESIGN
カナメ チタン段付本瓦葺き



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

Be Real
寄りそう知性

大谷大学

各入試制度の奨学金制度が充実!

☆PICK UP☆

ここに注目!!

総合型選抜入試を受験した**真宗学科**または**仏教学科**への入学生は、「**総合型選抜入学者奨学金**」【**給付額25万円**】の給付対象となります!

奨学金名称	給付金額	
★総合型選抜入学者奨学金	250,000円	初年次
★入試特別奨学金	年額 840,000円 (教育学部は940,000円)	初年次
★真宗大谷学園 大谷高等学校入学者奨学金	250,000円	初年次
★真宗大谷派学校連合会加盟高等学校 近畿圏外入学者進学支援奨学金	年額 420,000円	初年次
★入試特別奨学金チャレンジ受験 年内入試の入学手続き者が対象!	年額 840,000円 (教育学部は940,000円)	初年次
★真宗大谷派学校連合会加盟校 教育職員就業奨励金	専任教員 200,000円 常勤講師 150,000円 非常勤講師 50,000円	卒業時

給付対象等、奨学金の詳細はこちらから↓



[総合型選抜入試] 9月1日(月) 出願開始!

【出願期間】 9月 1日(月)～ 9月12日(金)

【試験日】10月 4日(土)

【合格発表日】10月13日(月・祝)



オープンキャンパス&入試対策講座のお知らせ

8/2(土)・3(日)・24(日)、9/21(日)・28(日)

- 8/3日(日)は公募制推薦入試[小論文型]実践講座を開催
- 8/24(日)は小論文型入試セミナーを開催
- 9/21(日)はオープンキャンパスと公募制推薦入試対策講座を同日開催
- 9/28(日)は公募制推薦入試対策講座を滋賀県で開催

各回で**総合型選抜入試ポイント解説**を実施しています。

ご家族での参加も大歓迎です!!

詳細・申込みはこちら



〒603-8143京都市北区小山上総町 入学センター
TEL:075-411-8114 FAX: 075-411-8160
E-MAIL:nyushi-c@sec.otani.ac.jp



大谷大学

大学HPはこちらからご覧になれます ▶





同朋大学

DOHO UNIV.

～共なるいのちを生きる～

OPEN CAMPUS

10:00～15:00

入退場自由

Doho University

8/2
Sat.

8/23
Sat.

9/27
Sat.

12/13
Sat.

※小論文対策講座は、9/27に行う予定です。
※変更が生じる場合がございますので、
大学HPをご参照ください。

OPEN CAMPUSの
最新情報はこちら!



私と 同朋大学

在 学 生 の 声

No.10



堀田 朋也

文学部 仏教学科3年

歴史研究について

私は、寺院の長男として育ちました。ただ仏教にはあまり関心がありませんでした。

中学の頃から日本史(戦国織豊期から江戸期)が好きで学びを深めていくうちに武家と仏教教団が繋がっていることに気づき、同朋大学の仏教学科で学びを深めようと考え、入学しました。入学後、高校の頃とは違って主体的に取り組んでいく大学での学びについて、「留年しないかな」などと不安がありましたが、先生方の丁寧なご指導のお陰で無事進級できています。3年次の現在、私は本願寺教団と武家の繋がり、江戸時代の幕藩体制下の本願寺教団についての研究を進めています。次年度はこのテーマで卒業論文に取り組みたいと考えています。

同朋大学

E-MAIL:nyushi@doho.ac.jp

〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町 7-1

TEL:052-411-1247

FAX:052-411-4124

WEB:https://www.doho.ac.jp/

■文学部
仏教学科/人文学科

■社会福祉学部
社会福祉学科
心理学専攻/社会福祉専攻/
子ども学専攻

■大学院
人間学研究科 仏教人間学専攻
仏教文化分野/人間福祉分野/臨床心理分野

■別科
仏教専修

最 新 刊

『俱舎論』とその諸註釈における三世
実有論批判の研究——仏教の時間論——
那須円照著 定価12100円(税込)

アビダルマ仏教の最盛期の学説綱要書である世親著『俱舎論』と、そのインドの諸註釈書の中の、「随眠品」における説一切有部の三世実有論を紹介し、それに対する経量部の立場からの批判について論じた箇所を解説・和訳する。

鏡如上人(大谷光瑞)及び
籌子裏方年譜
赤松徹眞編 定価15400円(税込)

本年譜は、本願寺教団の管長・宗主として多角的な視野と構想により教団を統率・運営し、内閣顧問などにも就任した鏡如上人(大谷光瑞)と、総裁として各地の仏教婦人会の結成や活動に尽力した籌子裏方の事績を編纂したもの。

東西本願寺120のちがい
鎌田宗雲著 定価3300円(税込)

主に前半は、東西本願寺の組織・寺紋・莊嚴・勤式・作法など一〇項目のちがいを紹介する。後半は、歴史的な視点も踏まえて東西本願寺のちがいに着目し、主にお東騒動に関して時系列で振り返りながら解説する。

値遇のころ
川添泰信著

本願寺の新報、または小冊子や、大学における揭示伝道の標語の解説などをまとめた法話集。主な内容として、お辞儀と礼拝／蜘蛛の手と合掌／「僭越」と「ジョーク」／蜘蛛の糸／安穩の未来／浄土真宗のお彼岸／この世にて／など。

定価1100円(税込)

永田文昌堂 〒600-8342 京都市下京区花屋町通西洞院西入 TEL 075-371-6651 FAX 075-351-9031

ご本山三折ご本尊専用お厨子



純金箔押タイプ(お道具極上Aセット)

現代の住宅事情に合わせたオリジナルデザインの「御本山三折ご本尊専用お厨子」を製作致しました。このお厨子が、新しく御本尊をお迎えして始まる「お内仏を中心とした真宗ご門徒の生活」のスタートに少しでもお役に立てましたならば、幸いに存じます。

(税込)

仕様	本体のみ	お道具仕様	お道具付
金箔押仕上	40,000	極上A 彫入 花瓶 2.0寸	69,000
		極上B 無地 花瓶 2.2寸	56,000
		特製 新型無地 花瓶 2.2寸	51,000
		上製 略型火立 花瓶 2.2寸	44,000

※お道具セットには、透かし土香炉 1.8寸、木燭は 1.4寸が含まれております
※お道具はお厨子限定の特別ご奉仕セットのため、お道具セットのみの販売は致していません



極上B お道具



特製お道具



上製お道具

【お厨子仕様】

- 原産国：日本製
- 木地主材料：木質製
- 塗：黒塗(別台部分ため色仕上)
- 箔押タイプ：純金一号箔押仕上

寸法：幅48cm×奥行21cm×高さ25cm

※三折ご本尊(台付)はご本山にご申請ください



御誂えの京佛具を真心こめてつくる店

京佛具 大 塚

〒600-8150 京都市下京区東洞院通上珠数屋町角

☎075-351-6553 FAX 075-341-0414

御連絡はフリーダイヤル ☎0120-20-6553 どうぞ

総合相談室

ご利用になる皆様の個人情報に最大限の注意を払い運営しておりますので、安心してお気軽にご相談ください。
なお、宗務所に面談にお越しになる際は事前にご予約をお願いします。

宗派公式ホームページ

「後継者相談」入寺希望

宗派ホームページからもご相談ください。情報登録並びに情報提供に関するお申し込みを受付しています。



結婚相手求む

● 寺院に迎えたい〈家族構成〉

神奈川県	男性	44歳	両親
富山県	男性	43歳	
岐阜県	男性	39歳	両親・妹弟
岐阜県	男性	49歳	
岐阜県	男性	54歳	母・弟
岐阜県	男性	39歳	
愛知県	男性	55歳	
愛知県	男性	41歳	
愛知県	男性	48歳	
愛知県	男性	46歳	
愛知県	男性	39歳	
三重県	男性	44歳	両親
三重県	男性	53歳	両親
大阪府	男性	38歳	両親
大阪府	男性	43歳	

北海道	女性	37歳	
山形県	女性	34歳	両親
新潟県	女性	38歳	
富山県	女性	50歳	
石川県	女性	35歳	
福井県	女性	39歳	両親
岐阜県	女性	40歳	両親
愛知県	女性	28歳	両親
滋賀県	女性	28歳	母・妹
大阪府	女性	38歳	両親
大阪府	女性	38歳	

● 寺院に入りたい

東京都	男性	49歳
-----	----	-----



入寺希望

秋田県	男性	58歳	有教師・東北教区希望
東京都	男性	56歳	有教師
東京都	男性	41歳	有教師
東京都在住	男性	43歳	有教師
東京都在住	男性	50歳	有教師・東京教区希望
埼玉県	男性	46歳	有教師
新潟県	男性	45歳	有教師・新潟県希望
石川県	男性	66歳	有教師・富山、能登、金沢教区希望
岐阜県	男性	75歳	有教師・岐阜県希望
愛知県	男性	70歳	有教師・愛知県、岐阜県、三重県希望
京都府在住	男性	53歳	有教師
大阪府	男性	67歳	有教師・大阪府、奈良県希望
大阪府在住	男性	53歳	有教師・大阪教区希望
鹿児島県	男性	46歳	有教師



法務員・寺務員求む

東京都／埼玉県／埼玉県 證大寺／神奈川県／新潟県／新潟市 真宗寺／
新潟市 超願寺／岐阜県／愛知県／大阪府／長崎県 法務員募集 詳細は面談で



後継者求む

北海道	有教師	50歳まで
北海道	有教師	25歳まで
北海道	有教師	要運転免許・40代まで
北海道	有教師	性別、単身・家族連れ不問・69歳まで
秋田県	有教師	性別、単身・家族連れ不問・50代くらいまで
山形県	有教師	性別、単身・家族連れ不問・50代くらいまで
宮城県	有教師	単身・家族連れ不問
長野県	有教師	50代まで
長野県	有教師	
新潟県	有教師	
新潟県	有教師	家族連れ・40代まで
新潟県	有教師	65歳くらいまで・要運転免許
東京都	有教師	50歳まで・要運転免許
富山県	有教師	家族連れ・50代くらいまで
富山県	有教師	家族連れ・40代くらいまで
富山県	有教師	70歳くらいまで・要運転免許
石川県	有教師	40代くらいまで
石川県	有教師	家族連れ・40代まで
石川県	有教師	家族連れ・50代まで
石川県	有教師	家族連れ
福井県	有教師	家族連れ・60代くらいまで
岐阜県	有教師	20～40代まで
岐阜県	有教師	家族連れ・50代まで
愛知県	有教師	家族連れ・40代くらいまで・要運転免許
愛知県	有教師	家族連れ
愛知県	有教師	家族連れ
愛知県	有教師	30代くらい
愛知県	有教師	家族連れ・40代くらいまで
愛知県	有教師	45歳まで
三重県	有教師	男性・40代まで
三重県	有教師	
滋賀県	有教師	
滋賀県	有教師	
滋賀県	有教師	50代くらいまで
滋賀県	有教師	家族連れ
滋賀県	有教師	
滋賀県	有教師	家族連れ
滋賀県	有教師	家族連れ・40代まで
滋賀県	有教師	要運転免許・65歳まで
福岡県	有教師	家族連れ
福岡県	有教師	家族連れ・60代くらいまで
長崎県	有教師	家族連れ
鹿児島県	有教師	独身・30代まで
鹿児島県	有教師	



法務員・手伝い希望

長野県	男性	有教師
三重県	男性	有教師 愛知県希望
滋賀県	男性	有教師 滋賀県・京都市希望
福岡県	男性	

● 組織部(教務) 総合相談室 TEL: 075-371-9184 ● 結婚に関する問い合わせは vivaha@higashihonganji.or.jp

8 採用試験の流れ

(1) 応募書類提出

①提出期間 2025年8月25日(月)～9月18日(木)まで

②提出先 〒600-8505

京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地

真宗大谷派宗務所 総務部 宗務役員募集係

TEL:075-371-9272 (直通)

※書類は、直接持参もしくは書留郵便(簡易書留可)にて9月18日(木)までに必着のこと(持参の場合、平日8時30分から17時まで)。

(2) 適性検査(SPI3・テストセンター方式)

①受検期間 2025年8月29日(金)～9月26日(金)まで

※応募書類到着後、弊派より受検案内メールを送信します。

(3) 筆記試験(真宗・仏教に関する基礎知識、作文)及び個別面接

①期日 2025年10月2日(木)

②会場 真宗大谷派宗務所

※詳細は、応募書類提出期間終了後に通知します。

9 その他

宗派公式ウェブサイトの「採用情報」ページをご参照ください。

(https://www.higashihonganji.or.jp/info_recruit/job/)



宗派公式
ウェブサイト

職員採用特設ページのお知らせ

宗派公式ウェブサイト「採用情報」内の職員採用特設ページには、採用に関する情報や、職員の様々な仕事内容の紹介やインタビュー等を掲載しています。

ぜひ真宗大谷派(東本願寺)で働きたい方など、有縁の方々へのご紹介をお願いいたします。

総務部(広報)

牧野さん

宗派公式ウェブサイト「採用情報」内の職員採用特設ページには、採用に関する情報や、職員の様々な仕事内容の紹介やインタビュー等を掲載しています。

宗派公式ウェブサイト「採用情報」内の職員採用特設ページには、採用に関する情報や、職員の様々な仕事内容の紹介やインタビュー等を掲載しています。

大谷祖廟事務所

松下さん

宗派公式ウェブサイト「採用情報」内の職員採用特設ページには、採用に関する情報や、職員の様々な仕事内容の紹介やインタビュー等を掲載しています。

宗派公式ウェブサイト「採用情報」内の職員採用特設ページには、採用に関する情報や、職員の様々な仕事内容の紹介やインタビュー等を掲載しています。

宗派公式ウェブサイト下部の
「採用情報」から、こちらのバナー
をクリックいただき、ご覧ください。



宗派公式ウェブサイト
<https://www.higashihonganji.or.jp>

真宗大谷派 採用

検索

スマートフォンからはこちら→



総 務 部

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
TEL.075-371-9272 FAX.075-371-1214

2026年宗務役員(一般職)募集要項

長い歴史の中で親鸞聖人の教えが伝承され、私たちにまで届けられました。

宗門を取り巻く環境が激変する現代において、この教えを次世代に伝えていくことが願われています。

全国のたくさんの寺院、僧侶、門徒とともに教えを聞き、全世界に真宗の教えを届けていくため、このたび、真宗大谷派宗務役員として、諸事業に従事いただける方を募集いたします。

具体的な仕事として、窓口で参拝者をお迎えする仕事、寺院や僧侶の活動をサポートする仕事、教えや活動を知ってもらうための広報や出版に関する仕事、それらを支える会計や事務等の仕事があります。

ともに学び、成長し、熱意をもって宗派運営の一翼を担っていただける仲間を心待ちにしています。ぜひご応募ください。

- 1 募集人員 若干名
- 2 勤務先 宗務所の各部門、東京宗務出張所、教務所及び教務支所(全国31ヵ所)、海外開教監督部その他
- 3 勤務時間・休日等
平日8時30分から17時まで。
※配属先によっては、勤務日及び勤務時間が異なる場合があります。
※所定時間外労働及び休日勤務がある場合があります。
※1週間に2日の定例休日の他に、年末年始休日、年次有給休暇、夏期休暇、特別休暇等があります。
- 4 採用 2026年4月1日付で採用され、試用期間(1ヵ月以上1年以内)を経て正式に任用されます。
採用後、約4ヵ月間は研修期間となります。職務の基本姿勢や宗門法規の概要、宗門の歴史や各種事務概要を学びつつ、各種法要や行事への参加、各部門や教務所での実習を経て、8月に正式配属となります。
- 5 労働条件
①基本給 230,000円(昇給 年1回 ※役職によって上限あり)
※試用期間中は200,000円となります。
②諸手当あり(通勤手当、時間外・休日勤務手当、家族手当、一時金等)
③各種保険あり(健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険)
④福利厚生あり(借上役宅制度、家賃補助、慶弔見舞金等)
⑤定年あり(60歳)※定年後、再雇用制度あり(65歳まで)
⑥退職金あり(3年以上勤務者のみ)
- 6 応募資格
①高等学校卒業またはこれと同等以上の学力を有すると認められる者
②真宗大谷派の僧侶または門徒(帰敬式を受式し、所属寺が明確であること)
- 7 応募書類
①履歴書・自己紹介書(自筆もしくはパソコンによる入力可)
※署名は必ず自署押印ください。
②写真(上半身で3ヵ月以内に撮影のものを履歴書に添付のこと)
③最終学校卒業証明書または卒業見込証明書
④最終学校成績証明書
※①の所定用紙は、宗務所総務部及び各教務所に備付のもの、もしくは宗派公式ウェブサイトに掲載したものを使用してください。
※③及び④の証明書については、大学卒業後に専門学校を卒業した場合等、最終学校と最高学歴が異なる場合は、それぞれの証明書を提出してください。

企画調整局 寺院活性化支援室

〒600-8164 京都府京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地 真宗教化センター しんらん交流館
TEL.075-371-9208 FAX.075-371-6171

お寺の法宝物調査支援 実施要項

真宗教化センター 寺院活性化支援室では、お寺の法宝物（御本尊や絵像、御聖教や古文書、仏具など）の調査支援を行っています。

法宝物の歴史や由来を明らかにすることを通して、お寺のこれまでの歩みや魅力を再発見してみませんか。お気軽にお問い合わせください。

こんな方へ
おすすめ

- お寺の法宝物を整理したい方
- お寺の歴史や由緒について知りたい方
- 法宝物にどんな由来があるのか知りたい方

対 象 真宗大谷派の寺院・教会

調 査 費 用 無料

支援の内容**(1) 法宝物の調査実施**

御本尊、宗祖御影、蓮如上人御影、聖徳太子御影、七高僧御影や什物類等の法宝物を現地で調査し、必要に応じて保存方法の提案やアドバイスを行います。

(2) 小冊子（図録形式）の作成

調査結果をもとに、図録形式の小冊子（A4・カラー）を作成し、1部贈呈します。データ形式でもお渡ししますので、プリントアウトやネット印刷も可能です。

支援の流れ

- ①寺院活性化支援室HP内の「お寺の法宝物調査支援」ページ掲載の要項をご確認のうえ、寺院活性化支援室にお問い合わせください。
- ②日程調整後、調査に伺います。調査所要時間は半日～を予定しています。
- ③調査の記録をもとに、小冊子（図録形式）を作成します。（制作期間2ヵ月程度）
- ④完成した小冊子（図録形式）1部とデータを送付します。

お問い合わせ

真宗教化センター 寺院活性化支援室 お寺の法宝物調査支援担当

TEL : 075-371-9208

E-mail : kyokacenter_shienshitsu@higashihonganji.or.jp



大谷祖廟（親鸞聖人御廟所）のご案内

大谷祖廟は親鸞聖人の御廟所であり、聖人をはじめ、本願寺の歴代、全国各地の寺院・ご門徒の方々のご遺骨が納められています。

開門：5時 閉門：17時

納骨・永代経・読経受付時間 8時45分～11時30分／12時45分～15時30分

※11時30分～12時45分までは受付を休止しています。

永代経法要 毎日14時30分～15時 定例法話 毎月13日・28日 永代経法要後

●大谷祖廟納骨について…



●読経について……………



●団体参拝について…



●仏前結婚式について……



●施設利用について…



〔大谷祖廟事務所 〒605-0071 京都市東山区円山町477
TEL：075-561-0777 FAX：075-533-0780〕



現在受付中の募集・開催要項等

詳細は本誌もしくは宗派公式ウェブサイトをご覧ください。

◆宗務役員（本廟部参衆）募集（本誌7月号120頁）

応募書類提出期間：2025年6月24日(火)から8月20日(水)まで

本廟部（式務所）【TEL：075-371-9188】



◆宗務役員（研修部補導）募集（本誌7月号118頁）

応募書類提出期間：2025年7月22日(火)から8月25日(月)まで

東本願寺同朋会館 研修部 補導募集係【TEL：075-371-9185】



◆南米開教区開教使募集（本誌7月号119頁）

随時募集（派遣者が定員に達した時点で募集を終了いたします）

組織部（国際室）【TEL：075-371-9187／E-mail：kokusai@higashihonganji.or.jp】



◆真宗本廟お煤払い奉仕団 申込締切：2025年11月9日(日)

【2泊】12月19日(金)～12月21日(日)

【1泊】12月19日(金)～12月20日(土)

歳末、両堂の1年分の埃を竹の棒と大きな団扇を使って外へ扇ぎだし、新しい年をお迎えする準備を行う「お煤払い」に参加する奉仕団です。

【参加費】〈2泊3日〉18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円
 〈1泊2日〉13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円
 ※上記は大人(15歳以上)の場合です。

●真宗本廟奉仕施設の利用について…



●「縁」—納骨・帰敬式同朋会館宿泊プラン—
 納骨・帰敬式でのご参拝の際、同朋会館にご宿泊いただけます。



【研修部(同朋会館) TEL: 075-371-9185】

真宗教化センター しんらん交流館のご案内

教化情報の発信・交流の拠点として、人と人とをつなぐ地域に開かれた行事を開催しています。

【開館時間／9時～17時 休館日／毎週火曜日・8月9日～17日】

東本願寺日曜講演 9時30分～11時

8月3日 乾 文雄氏(大谷中学・高等学校 校長・京都教区正念寺住職)
 「「聞・問・開」という歩み」

8月24日 鶴見 晃氏(同朋大学教授)「『観無量寿経』序分に学ぶ」

8月31日 青柳英司教学研究所研究員「親鸞聖人の『観経』観」

しんらん交流館定例法話 お勤め14時～、法話14時30分～15時30分(毎月12日・27日は10時～)

※毎週火曜日・8月9日～17日休会。その他都合により休会する場合があります。

8月の法話はこちら…



電話相談「東本願寺 いのちとこころの相談室」 毎週木曜日13時～17時

皆さまのお悩み・ご相談をお聞きます。 TEL: 075-371-9280

東本願寺文庫・絵本コーナー 9時～16時30分 ※絵本コーナーの閲覧は17時まで

書籍・絵本の閲覧、貸し出しを行っています。

浄土真宗ドットインフォ(しんらん交流館ホームページ)のご案内

お寺のサポート情報・浄土真宗の教えにふれる情報を配信しています。



空きがある場合に限り、館内施設(ホール・ギャラリー・会議室)をご利用いただけます。詳細は下記までお問い合わせください。

真宗教化センター しんらん交流館

〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地

TEL: 075-371-9208 メール: shinrankoryukan@higashihonganji.or.jp

真宗本廟 参拝接待所のご案内

真宗本廟収骨・読経・帰敬式・お斎・団体参拝の受付を行っています。〔開所時間／9時～16時〕
〔真宗本廟開門・閉門時間／3月～10月：5時50分～17時30分、11月～2月：6時20分～16時30分〕

●真宗本廟収骨について……………

御影堂の宗祖親鸞聖人御真影のもとに、ご遺骨をお納めさせていただきます。



●読経について……………

御影堂での本山永代経・御影堂読経、参拝接待所仏間での仏間読経をお受付しています。



●帰敬式について……………

仏、法、僧の三宝に帰依し仏弟子となる大切な儀式です。



●真宗本廟団体参拝について……………

諸殿拝観や清掃奉仕等を通して、真宗の教えにふれていただくことを願いとしています。



各種お申し込み受付時間・……………
お取り扱いの予定はこちら



晨朝法話・真宗本廟法話

晨朝【阿弥陀堂及び御影堂】毎日7時～ 晨朝法話【御影堂】毎日7時30分頃～

真宗本廟法話【視聴覚ホール・御影堂・参拝接待所仏間】

通常：10時10分～／13時10分～ 逮夜日（12日・27日）：13時10分～

御命日（28日）：9時30分～

法要・法話のご案内…



参拝接待所ギャラリー 9時～16時 入場無料

「親鸞聖人のご生涯」（常設展）

涉成園（枳殻邸）

開園時間 〈3月～10月〉9時～17時（受付は16時30分まで）

〈11月～2月〉9時～16時（受付は15時30分まで）

庭園維持寄付金 一人700円以上（高校生・中学生300円以上、小学生以下無料）



渉成園

〔本廟部・参拝接待所 TEL：075-371-9210〕

真宗本廟奉仕のご案内

「同朋会館」は、全国から集う方々が寝食を共にし、親鸞聖人の教えを聞き、真宗門徒の生活を習う聞法の道場です。ご門徒・お友達を誘って、真宗本廟奉仕にご参加ください。

お申し込みは上山希望日の40日前までに行ってください。

詳細・お申し込み…



テーマのある真宗本廟奉仕のご案内

◆真宗本廟おみがき奉仕団 申込締切：2025年9月30日(火)

〔2泊〕11月9日(日)～11月11日(火)／〔1泊〕11月9日(日)～11月10日(月)

報恩講を迎えるにあたって、真宗本廟内の仏具のおみがきを両堂の縁で行います。

三重教区 三重組 長傳寺
住 職 片 岡 健
2025・4・18寂(82歳)

大阪教区 第21組 浄得寺
前住職 松 井 一 覺
2025・3・17寂(93歳)

山陽教区 第3組 善行寺
前住職 稲 田 昭
2025・4・24寂(80歳)

九州教区 大牟田三池組 圓通寺
住 職 菊 山 誠 至
2025・5・14寂(82歳)

九州教区 鹿児島組 大東寺
住 職 武 鹿 照 孝
2025・3・7寂(81歳)

坊守及び前坊守

北海道教区 第2組 法覺寺
前坊守 吉 武 聖 子
2025・4・18寂(101歳)

北海道教区 第4組 徳生寺
前坊守 八 島 セ ツ
2025・4・20寂(96歳)

北海道教区 第9組 正樂寺
前坊守 金 光 和 子
2025・3・14寂(93歳)

北海道教区 第10組 大鳳寺
前坊守 山 田 捷 子
2025・3・10寂(82歳)

東北教区 秋田県南組 長安寺
前坊守 長 井 フ サ
2025・4・22寂(99歳)

東京教区 茨城1組 幸生寺
前坊守 真 田 節 子
2025・2・6寂(98歳)

富山教区 第10組 蓮照寺
前坊守 堀 徳 子
2024・9・8寂(90歳)

富山教区 第10組 永福寺
前坊守 長 悠 子
2025・1・21寂(88歳)

富山教区 第3組 西勝寺
前坊守 米 澤 美津子
2025・3・13寂(89歳)

能登教区 第8組 名船寺
坊 守 生 田 敬 子
2025・4・8寂(95歳)

金沢教区 第5組 潮音寺
前坊守 小 野 三千代
2025・3・26寂(82歳)

大垣教区 第6組 満念寺
前坊守 佐久間 艶 子
2025・4・26寂(89歳)

三重教区 三講組 真正寺
前坊守 川 瀬 喜與子
2025・5・12寂(97歳)

京都教区 敦賀組 高福寺
坊 守 竹 本 よう子
2024・12・15寂(84歳)

九州教区 大牟田三池組 光圓寺
前坊守 藤 津 道 子
2025・4・7寂(92歳)

敬 弔

ご生前のご功勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

(2025年5月16日～2025年6月15日受付まで)

住職及び前住職

北海道教区 第20組 東光寺

住 職 池 田 修

2025・5・14寂(74歳)

東北教区 秋田県中央組 如來寺

住 職 渡 部 公 夫

2025・2・25寂(69歳)

東北教区 山形第4組 了廣寺

前住職 和 田 正 久

2025・4・19寂(90歳)

東京教区 長野5組 妙勝寺

住 職 石 川 隆 也

2024・12・17寂(65歳)

新潟教区 第2組 東浄法寺

前住職 比 護 秀 悟

2025・4・30寂(82歳)

富山教区 第1組 超倫寺

住 職 多 田 俊 六

2025・5・12寂(93歳)

富山教区 第1組 光西寺

前住職 立 島 了

2025・1・23寂(82歳)

富山教区 第2組 光仁寺

住 職 芝 教 純

2025・5・15寂(75歳)

富山教区 第8組 万徳寺

住 職 長 谷 能 成

2025・3・27寂(74歳)

能登教区 第1組 願生寺

住 職 蓮 池 則 也

2025・3・7寂(75歳)

能登教区 第12組 徳照寺

住 職 亀 居 欽

2025・2・1寂(89歳)

金沢教区 第11組 本樂寺

住 職 根 保 宣 行

2025・2・22寂(80歳)

福井教区 第8組 浄信寺

住 職 谷 口 智 照

2025・3・14寂(89歳)

岐阜高山教区 第2組 法藏寺

住 職 平 野 昭 信

2025・3・11寂(76歳)

大垣教区 第5組 順行寺

前住職 川 合 文 嶺

2025・4・17寂(97歳)

大垣教区 第8組 大乘寺

前住職 國 枝 智

2025・5・9寂(90歳)

毎月全国へ出張訪問中
まずは電話、メールなどでご連絡ください。
日程相談の上参上いたします。

寺宝 正絹金襴緞子
文化財修理修復表装

※正絹本金の場合はお見積りください



表具幅 83cm まで 正絹

44

万円
(税込)

表具幅 70cm まで 正絹

38

万円
(税込)

御 絵 伝 ・ 七 高 僧 ・ 聖 徳 太 子

杉 本 工 芸

自社工房内で一貫作業いたします

〒602-8268 京都市上京区山里町 236-1

TEL 075-417-6966

sugikake@gmail.com

そろそろ
修理

見積無料

九州教区久留米三井組 光蓮寺
九州教区浮羽組 光琳寺
九州教区三潞組 善隆寺
九州教区山門東組 實求寺
九州教区大牟田三池組 光萬寺

住職代務者

東北教区秋田県中央組 如來寺
東北教区山形第1組 本龍寺
東北教区山形第7組 無量寺
東京教区長野5組 妙勝寺
能登教区第1組 願生寺
金沢教区第4下組 本桂寺
福井教区第8組 圓德寺
岐阜高山教区第12組 來遊寺
大垣教区第12組 聞光寺
岡崎教区第16組 松韻寺
名古屋教区第7組 淨真寺
名古屋教区第19組 得生寺
名古屋教区第24組 頓受寺
京都教区長浜第20組 宗信寺
京都教区山城第3組 慶念寺
大阪教区第11組 教願寺
大阪教区第23組 養泉寺
山陽教区備後組 正明寺
九州教区京都組 寶林寺
九州教区大分東組 念聲寺
九州教区大分東組 覺照寺
九州教区長崎組 善行寺
九州教区熊本西組 安養寺

教会主管者代務者

岡崎教区第4組 海老教会
岡崎教区第9組 富好教会

教 師

僧正

井上琢磨 徳山 光 松井一覺

権僧正

吉武文法 蓮元聖吾 川合文嶺 石川隆也

大僧都

藤井賢了 小笠原智典 内山晃佳 立島 了 長谷能成
比護秀悟

権大僧都

真島修智 峰 恵 谷内正孝 谷口智照 菊山誠至

僧都

川村健治 藤田眞梨 池田 修 和田正久

権僧都

片岡 健

古賀竜美
野上 広
徳永 真
平川 亮
木下真宣

中島善亮
岡 道弘
金森了司
佐々木一男
蓮池順子
須藤寛生
北藤順二
最上知道
柘植哲史
小島恵美子
佐々木智子
木村政彦
小島康雄
七岡朋子
權藤真二
本田鞠子
井本弘司
町田規子
今居哲治
清原正信
清原正信
益田恵真
東 光昭

片桐恵学
中村祐介

律師

高屋寛順 平野昭信

権律師

彪 芳震 安田文香 山川義正

法師位

藤岡明良 館 恒河 中野了由 藤林広正 根保宣行
芝 教純

満位

渡部公夫 蓮池則也

教 導 発 令

藤原良介

輔導使に任命します

(2025年5月16日)

森 剛史

輔導使に任命します

(6月6日)

功 章 旌 賞

特殊大功章

武鹿照孝 國枝 智

特殊功章

吉武文法 井上琢磨 北條誓生 木曾智理 赤松 宰

第一功章

藤岡優香 南條竜山 中川大地

第八功章

齊藤雅人 益田 尽

特殊旌賞

吉武文法 熊谷洋潤

一等旌賞

藤岡優香 南條竜山 中川大地

八等旌賞

益田 尽 秋田聡子 新田哲平 梅溪順慶 後藤洋明

藤澤賢祐 藤林広正 井上貴文 山内眞也

感 謝 状

一般財団法人太田慈光会代表理事

太田義徳

告示第27号

研修冥加金を下記のとおり改め、2026年7月1日から実施する。

2025年6月10日

宗務総長 木 越 渉
記

研修冥加金

住職修習	40,000円
教師修練	90,000円
	以上

告示第28号

学事冥加金を下記のとおり改め、2026年7月1日から実施する。

2025年6月10日

宗務総長 木 越 渉
記

教師補任冥加金	100,000円
	以上

任 免 辞 令

福井別院書記 熊谷洋潤

願により役務を免じます

(2025年3月21日)

高田別院列座 繁原 立

願により役務を免じます

(3月31日)

岡崎別院列座 近藤 悠

岡崎別院会計の兼務を命じます

期限 2028年4月21日まで

(4月22日)

南米開教区開教使 山崎 超

願により役務を免じます

(5月21日)

渡邊 信

審問院審事に任命します

期限 2028年5月27日まで

毛利智見

審問院監事に任命します

期限 2028年5月27日まで

(以上、5月28日)

大阪教務所主計 安田誓遵

大阪教務所主事に任命します

大阪教務所次長 栗津大隆

大阪教務所主計事務取扱を命じます

(以上、6月10日)

水谷正人

高須別院輪番に任命します

任期 2027年6月10日まで

(6月11日)

荒山 信

名古屋別院輪番に任命します

任期 2029年6月14日まで

(6月15日)

住 職 (5月28日)

北海道教区第1組 大宣寺	寺西善来
北海道教区第1組 安樂寺	阿部信人
北海道教区南第3組 光福寺	金石智祥
北海道教区南第3組 法誓寺	黒萩貴仁
北海道教区第4組 圓照寺	上島教悟
北海道教区第4組 妙現寺	境川隆彰
北海道教区第4組 専修寺	巖城孝行
北海道教区第19組 常念寺	橋本正暁
東北教区秋田県南組 本明寺	菊地香円
新潟教区第10組 光圓寺	佐々木秀英
新潟教区第7組 圓了寺	尾崎眞浩
富山教区第11組 養照寺	藤谷 樹
金沢教区第9河北組 光闍寺	谷内則行
金沢教区第11組 正覺寺	日野順正
小松大聖寺教区第2組 光玄寺	佐竹 融
福井教区第3組 敬願寺	富田明道
岐阜高山教区清見組 満成寺	夏野晃遵
岐阜高山教区第6組 淨榮寺	上山崇信
岡崎教区第14組 西光寺	清澤和音
名古屋教区第10組 本源寺	矢留不二子
名古屋教区第12組 淨念寺	服部 聖
名古屋教区第12組 安法寺	藤浪伸明
名古屋教区第13組 明通寺	北條義宣
名古屋教区第21組 淨専寺	渡邊研慈
三重教区三講組 徳圓寺	和田宗恵
大阪教区第2組 光圓寺	室殿 元
大阪教区第16組 佛名寺	水野昇二郎
大阪教区第21組 西然寺	佐野元直
山陽教区第6組 常德寺	内藤隆晃
山陽教区赤穂組 明顯寺	内藤和裕
山陽教区備中組 龍階寺	東 恵子
九州教区豊前中津組 徳寶寺	安村淨映
九州教区大分府組 来應寺	日野修一

第14号	災害対応準備金に関する特別措置条例	2025年6月27日	復興支援体制強化のため、災害見舞準備金の位置づけを改めて規定。
第15号	海外開教推進資金に関する特別措置条例	2025年6月27日	外貨遺贈を原資とし、海外開教に資する保管金を設置。
第16号	地震災害に係る共済金給付額の算出に関する臨時措置条例	2025年6月27日	新たな共済制度構築までの間、制度維持を図るための臨時措置を規定。
第17号	宗教法人法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	2025年6月27日	宗教法人法の改正に伴い、役員欠格事由を整理改正。

※公示文は、宗派公式ウェブサイトに掲載しています。



2 達令公示

公示番号	達令	公示日	主な内容
第5号	宗議会議員選挙条例施行条規	2025年6月27日	宗議会議員選挙条例の全部改正に伴う改正。
第6号	宗務所事務分掌規程の一部を改正する達令	2025年6月27日	『同朋新聞』の業務移管などの改正。
第7号	大谷祖廟及び東大谷墓地に関する総合整備事業事務室規程	2025年6月27日	大谷祖廟及び東大谷墓地に関する総合整備委員会の事務等を行うため、事務室を設置。
第8号	電子計算機による情報等の管理運用及び保護に関する規程の一部を改正する達令案	2025年6月27日	宗派が運営するウェブサイトの一覧を別表に規定。
第9号	宗務役員の任用等に関する規程の一部を改正する達令	2025年6月27日	「鍵役補」を規定。
第10号	宗務役員給与規程の一部を改正する達令	2025年6月27日	「鍵役補」の俸給などの規定。
第11号	教区会議員選挙条例施行条規	2025年6月27日	教区会議員選挙条例の全部改正に伴う改正。
第12号	教区青少幼年教化推進本部規程の一部を改正する達令	2025年6月27日	宗務職制の改正に伴う整理。
第13号	組制施行条規の一部を改正する達令	2025年6月27日	教区及び組の改編の実施に伴う改正。
第14号	法鵬法衣条例施行条規の一部を改正する達令	2025年6月27日	「鍵役補」の役職衣体の新規制定、薄物衣体の緩和。
第15号	公示及び告示に関する達令の一部改正する達令	2025年6月27日	宗門法規の公示を宗派ウェブサイトへ掲載するための改正。
第16号	宗宝宗史蹟保存条例施行条規の一部を改正する達令	2025年6月27日	業務移管に伴う改正。

※公示文は、宗派公式ウェブサイトに掲載しています。





創業宝永年間 各宗大本山御用達

香老舗 松榮堂

京都市中京区烏丸通二条上ル東側
〒604-0857 電話 075(212)5590(代)

www.shoyeido.co.jp



東本願寺御用達

日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下ル
電話 (075)351-6325
フリ-FAX 0120-89-5255
定休日：日曜日



創業三百三十年
御香・蠟燭

財木屋

〒602-8034 京都市上京区油小路通丸太町上ル
TEL(075)231-1063 FAX(075)231-1068

公示・告示・任免等

公示告示

1 条例公示

公示番号	条例	公示日	主な内容
第1号	真宗本廟崇敬条例の一部を改正する条例	2025年6月27日	真宗本廟の崇敬に万全を期するため、鍵役の業務を補佐する「鍵役補」を規定。
第2号	宗議会議員選挙条例	2025年6月27日	選挙事務の合理化と利便性向上等のため、選挙日程の見直しや郵便投票の拡大など、全部改正。
第3号	参議会議員選挙条例の一部を改正する条例	2025年6月27日	教区運営の効率化のため、教区門徒会の招集要件等を見直したほか、教区改編に伴い別表も改正。
第4号	宗務職制の一部を改正する条例	2025年6月27日	宗務役員として「鍵役補」を規定。
第5号	宗務改革の推進に関する条例の一部を改正する条例	2025年6月27日	宗務改革として別院の再編成を位置付け。
第6号	別院の再編成に関する条例	2025年6月27日	別院の再編成に必要な協議機関、手続き等を規定。
第7号	大谷祖廟及び東大谷墓地に関する総合整備委員会条例	2025年6月27日	宗務審議会提示の基本構想を踏まえ、総合整備事業について調査・審議する委員会を規定。
第8号	教区制の一部を改正する条例	2025年6月27日	「山陽四国教区」発足等に伴う別表等の改正。
第9号	教区会議員選挙条例	2025年6月27日	宗議会議員選挙条例と同様に全部改正。
第10号	審問条例の一部を改正する条例	2025年6月27日	個人情報保護の観点から、懲戒情報の『真宗』誌掲載内容の見直し。
第11号	第2種共済特別会計条例の一部を改正する条例	2025年6月27日	自取自弁の独立構造へ改正。
第12号	宗務改革推進資金に関する特別措置条例の一部を改正する条例	2025年6月27日	宗務改革として別院の再編成を位置付け。
第13号	首都圏教化推進特別会計条例の一部を改正する条例	2025年6月27日	納骨施設の整備に資する資金確保を規定。

書籍への 文字入れ印刷 受付中！

法要や行事の記念品に、ぜひご活用ください！

東本願寺出版発行書籍の表や裏のご指定のところに、文字を印字することができます（例：第十五世住職継承記念 など）。

詳しくは宗派公式ウェブサイト「各種記念品の取り扱い」からご覧ください。

〈お問い合わせ〉東本願寺出版 【books@higashihonganji.or.jp】



真宗 8月号

公示・告示・任免等 ご案内・要項

公示・告示・任免等

公示・告示	(2)
任免辞令	(4)
住職	(4)
住職代務者	(5)
教会主管者代務者	(5)
教師	(5)
教導発令	(5)
功章・旌賞	(5)
感謝状	(5)
敬弔	(6)

ご案内・要項

真宗本廟 参拝接待所のご案内	(8)
真宗本廟奉仕のご案内	(8)
真宗教化センターしんらん交流館のご案内	(9)
大谷祖廟(親鸞聖人御廟所)のご案内	(10)
現在受付中の募集・開催要項等	(10)
お寺の法宝物調査支援 実施要項	(11)
2026年宗務役員(一般職)募集要項	(12)
総合相談室	(14)

本誌に関してのご意見・
ご要望をお寄せください。

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版『真宗』誌係
FAX:(075)371-9211 E-mail:shuppan@higashihonganji.or.jp

2025年(令和7年)8月1日発行 第1457号 1部定価:275円(本体250円+税10%・送料別 毎月1日発行)

編集 東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)

発行所 真宗大谷派宗務所 代表者 木越 渉

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 電話(075)371-9181 振替01000-6-27404(出版部)

印刷所 (株)京富士印刷 京都市西京区大枝南福西町3-4

今月の推奨念珠



赤編瑪瑙(本絹房)
店頭小売価格 11,000円(税込)
白い編瑪瑙が珍しい赤編瑪瑙を紫紺色
本絹房でお仕立いたしました



素引編紫檀 二十二玉(桃色水晶蓮華彫仕立)
店頭小売価格 11,000円(税込)
木の持つ風合いを生かした素引編紫檀に、
蓮彫を施した桃色水晶でお仕立

※掲載商品のカラー画像はオンラインショップでご覧頂けます。

御法要の記念品は
品質・価格・残った品物の御引取を保証する
念珠の製造専門店

福永念珠舗

創業寛政九年 京都

〒600-8174 京都市下京区東本願寺前上珠敷屋町角
電話 (075)-351-2960 FAX (075)-351-0018



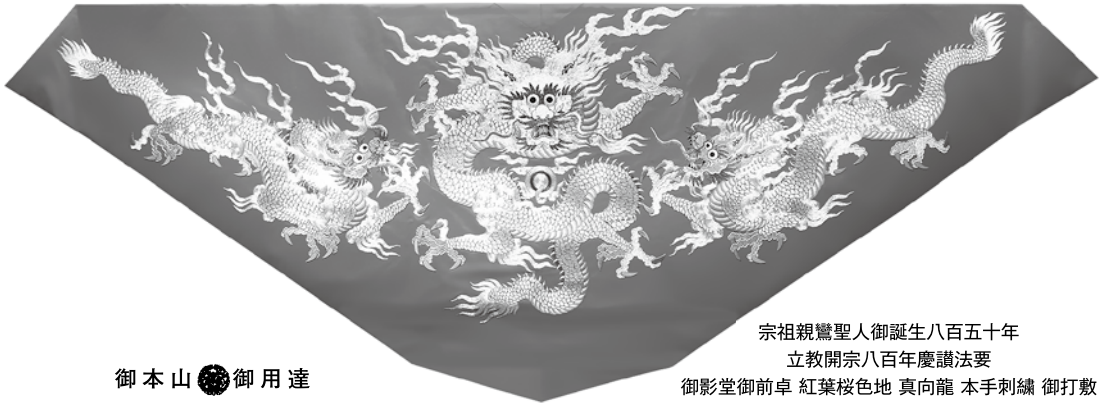
素引編紫檀



赤編瑪瑙



福永念珠舗
オンラインショップ



御本山 御用達

営業品目 法衣・打敷・御幕・念珠・賃稚児衣装

(株) 平安法衣店

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年

立教開宗八百年慶讃法要

御影堂御前卓 紅葉桜色地 真向龍 本手刺繍 御打敷

〒600-8153

京都市下京区廿人講町16

電話 (075) 351-3681(代)・FAX (075) 351-5563

振替口座 01080-2-3222

キャラクター鉛筆 プレゼントキャンペーン

期間：7月1日～10月31日

『書いて学ぶ親鸞のことば 歎異抄』と『書いて学ぶ親鸞のことば
正信偈』を同時に購入でキャラクター鉛筆を1本プレゼント！

毎月先着100名様限定！

無くなり次第終了となりますので、お買い求めはお早めに！



〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189 FAX.075-371-9211

東本願寺出版公式
オンラインショップは
こちら→



『坂東本 教行信証』 カラー影印縮刷本 予約受付中

予約受付期間

2025年6月1日～9月15日

価格：99,000円(税込・送料込)

→予約期間の注文に限り

79,200円(税込・送料込)

聖教編纂室 編

A4変形判(縦30.5cm×横23cm)

オールカラー・箱付き

4分冊：〈一〉「教巻・行巻」160頁

〈二〉「信巻」192頁

〈三〉「証巻・真仏土巻」144頁

〈四〉「化身土本巻・化身土末巻」

232頁

※各頁数は予定。

ご注文は
こちら→



①東本願寺出版公式オンラインショップにてご注文いただけます。はがき・メール・FAXでのご注文の場合は、お名前・住所・電話番号・部数を明記の上、「東本願寺出版」までお送りください。

※高額のためお電話での注文は受け付けておりません。何卒ご了承ください。

②発送時期は、2025年11月下旬を予定しております。

③お知らせいただきました個人情報は、書籍の送付・請求以外に使用いたしません。

※詳細は本誌12頁をご覧ください。

坂東本 教行信証 関連書籍

**カラー影印縮刷本と
あわせてご活用ください**

**はじめてふれる
坂東本・教行信証**

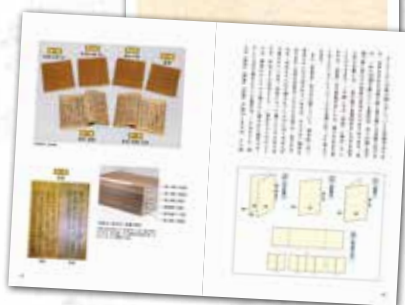
三木彰円 著

カラーで紹介

「坂東本」に込められた聖人のおこころにふれていただくことを願い、自筆本だからこそ窺えるさまざまな特徴を、豊富な写真や図を用いて紹介。

B5判／80頁

定価：1,650円(税込)



宗祖親鸞聖人著作集 一

聖教編纂室 編

「坂東本」翻刻文と書き下し文(『真宗聖典第二版』収録の本文)を照応しながら学ぶことができる一冊。

A5判／540頁 ケース付き

定価：4,950円(税込)



東本願寺出版
HIGASHI-HONGANJI PUBLISHING

〒600-8505
京都市下京区烏丸通七条上る

E-mail: books@higashihonganji.or.jp
FAX.075-371-9211

東本願寺出版

検索

**坂東本の特徴について紹介する動画も
公開しています→**

